

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公表番号】特表2019-535469(P2019-535469A)
 【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)
 【年通号数】公開・登録公報2019-050
 【出願番号】特願2019-546766(P2019-546766)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 25/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/09 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月9日(2020.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガイドワイヤを片手で挿入するためのデバイスであって、
 本体と、アクチュエータキャリッジと、を備え、
 前記本体は、

前記本体に形成される把持部と、

前記本体によって画定される案内路と、

前記本体に形成される、シリンジのための取付部と、

を有し、

前記シリンジは、ブランジャと、ブランジャフランジと、前記ブランジャを貫通するガイドワイヤ通路と、前記ブランジャを貫通する前記ガイドワイヤ通路と同一直線上の中
 空針とを有し、

前記取付部は、シリンジのパレルを受け入れて保持するように適合され、

前記アクチュエータキャリッジは、

前記本体の前記案内路に沿って摺動可能であり、

前記アクチュエータキャリッジに、

トリガと、

シリンジの前記ブランジャフランジを把持するように適合されたフランジ拘束部と、

前記アクチュエータキャリッジ上に取り付けられた実質的に環状のカセットを支持する
ように適合されたワイヤガイド送給取付部であって、

前記ブランジャフランジと結合し、前記ガイドワイヤを、前記シリンジの前記ブラ
ンジャを貫通する前記ガイドワイヤ通路内に方向付けるように適合された案内具と、

前記実質的に環状のカセットと前記案内具との間のワイヤ送給面と、

が取り付けられた、ワイヤガイド送給取付部と、

前記実質的に環状のカセットと結合するように適合された受け部と、

が取り付けられており、

前記把持部が片方の手の複数本の指によって係合されているとき、前記片方の手の1本の指は、前記片方の手の1本の指と前記ワイヤ送給面との間で前記ワイヤと係合することによって前記シリンジを通じて前記ワイヤを前進させ、前記ワイヤの先端が受ける抵抗の度合いを感知することが可能であり、前記片方の手の1本の指は、前記片方の手の複数本

の指が前記把持部に係合し続けた状態で、前記シリンジの前記トリガを後方及び／又は前方に押圧し、前記プランジャを後方及び／又は前方に引くことが可能であるように、前記把持部、前記トリガ及び前記送給面が配置されている、ガイドワイヤを片手で挿入するためのデバイス。

【請求項 2】

前記実質的に環状のカセットと結合するように適合された前記受け部は、前記フランジ拘束部から後方に離間され、前記環状のカセットの出口を、前記ワイヤ送給面、前記案内具、及び前記シリンジの前記プランジャを貫通する前記ガイドワイヤ通路と実質的に一直線上に保持する、請求項 1 に記載のガイドワイヤを片手で挿入するためのデバイス。

【請求項 3】

前記案内路は前記本体の内部にある、請求項 2 に記載のガイドワイヤを片手で挿入するためのデバイス。

【請求項 4】

前記案内路は、前記本体の外面に形成される、請求項 2 に記載のガイドワイヤを片手で挿入するためのデバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

優先権の主張

本出願は、2017年11月10日に出願された国際出願 PCT / US 2017 / 61046の国内移行出願である。PCT / US 2017 / 61046 は、2016年11月10日に出願された米国仮特許出願第 62 / 420, 269 号に基づく優先権を主張する。本出願は、この米国仮特許出願の優先権が主張され、この米国仮特許出願の開示は参照により援用される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【図 1】本発明の挿入デバイスの部分的に展開された概略等角斜視図であり、ガイドワイヤ送給部モジュールの取り付け前に適所にあるシリンジのプランジャを示す。

【図 2】本発明の挿入デバイスの展開された概略等角斜視図である。

【図 3】本発明の挿入デバイスの展開された概略等角斜視図であり、シリンジの指掛けフランジを適所に長手方向に固定しながら、シリンジを本体上に保持する、指掛けフランジ保持クリップの詳細を示す。

【図 4】本体の正面におけるシリンジ保持リングの詳細を示す。

【図 5】本体の正面におけるシリンジ保持リングの詳細を示す。

【図 6】本体の背面におけるシリンジ保持クリップの詳細を示す。

【図 7】本体の背面におけるシリンジ保持クリップの詳細を示す。

【図 8】本発明の挿入デバイスと共に用いるのに適したワイヤガイド送給部モジュールの概略等角斜視図である。

【図 9】ワイヤ操作中の触覚を向上させるのに好ましい中間の凸部を特に示す図 8 のワイヤガイド送給部モジュールの詳細を示す。

【図 10】ワイヤ操作中の触覚を向上させるのに好ましい中間の凸部を特に示す図 8 のワ

イヤガイド送給部モジュールの詳細を示す。

【図 1 1】ワイヤ操作中の触覚を向上させるのに好ましい中間の凸部を特に示す図 8 のイヤガイド送給部モジュールの詳細を示す。

【図 1 2】ワイヤ操作中の触覚を向上させるのに好ましい中間の凸部を特に示す図 8 のイヤガイド送給部モジュールの詳細を示す。

【図 1 3】ワイヤ操作中の触覚を向上させるのに好ましい中間の凸部を特に示す図 8 のイヤガイド送給部モジュールの詳細を示す。

【図 1 4】カセットが、シリンジのプランジャ上への装着を助長しにくいサイズであるときに、シリンジではなくアクチュエータキャリッジ上にワイヤガイド送給部及び大きなカセットを装着することを可能にする、ワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具に装着されているときの図 8 ~ 図 1 3 のワイヤガイド送給部の底面を示す。

【図 1 5】カセットが、シリンジのプランジャ上への装着を助長しにくいサイズであるときに、シリンジではなくアクチュエータキャリッジ上にワイヤガイド送給部及び大きなカセットを装着することを可能にする、ワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具に装着されているときの図 8 ~ 図 1 3 のワイヤガイド送給部の底面を示す。

【図 1 6】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 1 7】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 1 8】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 1 9】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 2 0】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 2 1】図 1 4 及び図 1 5 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具の詳細を示す。

【図 2 2】図 1 4 ~ 図 2 1 のワイヤガイド送給部装着用固定具又は保持具において図 8 ~ 図 1 3 のワイヤガイド送給部を保持するための保持機構を適合させるための爪の詳細を示す概略図である。

【図 2 3】本体上の嵌合クリップの真上のシリンジと、作動キャリッジとを有する本発明の挿入デバイスの概略等角斜視図である。

【図 2 4】ワイヤガイド送給部の挿入前の作動キャリッジ上へのワイヤガイド送給部装着用固定具の装着を示す、ワイヤガイド送給部装着用固定具の概略等角斜視図である。

【図 2 5】ワイヤガイド送給部モジュールの挿入前の作動キャリッジ上への保持具の誤った装着を防ぐ装着機構の詳細を示す、図 2 4 のワイヤガイド送給部装着用固定具の拡大概略等角斜視図である。

【図 2 6】操作者が確実にかつ迅速にシリンジを挿入デバイスに装着することを可能にするように構成された、本発明の代替的な挿入デバイスを示す概略等角斜視図である。

【図 2 7】シリンジ上の指掛けフランジと、本体におけるその嵌合溝との相互作用を示す、図 2 6 の概略等角斜視図の詳細図である。

【図 2 8】図 2 6 に示す外部ガイドの分解図である。

【図 2 8 A】プランジャフランジと、プランジャフランジクリップとの相互作用を示す、図 2 6 の概略等角斜視図の詳細図である。

【図 2 9】ワイヤ制御面を、ワイヤ制御面が上方を向いた状態でトリガ機構の上に位置決めし、ワイヤが、上記の実施形態のように指の先端ではなく、指の平坦部によってより容易に係合されるようになっているために、多くの臨床医が人間工学的に好ましいと考える場合がある本発明の代替的な実施形態を示す。

【図 3 0】ワイヤ制御面を、ワイヤ制御面が上方を向いた状態でトリガ機構の上に位置決めし、ワイヤが、上記の実施形態のように指の先端ではなく、指の平坦部によってより容

易に係合されるようになっていたために、多くの臨床医が人間工学的に好ましいと考える場合がある本発明の代替的な実施形態を示す。

【図 3 1】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の平面図である。

【図 3 2】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の右側面図である。

【図 3 3】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の背面図である。

【図 3 4】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の正面図である。

【図 3 5】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の底面図である。

【図 3 6】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の図 3 2 における線 3 6 - 3 6 に沿った断面図である。

【図 3 7】図 2 9 及び図 3 0 の代替的な実施形態の左側面図である。

【図 3 8】図 3 0 に示す実施形態の展開図である。

【図 3 9】図 3 0 に示す実施形態の展開図である。

【図 4 0】図 3 0 に示す実施形態の展開図である。

【図 4 1】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 2】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 3】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 4】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図であり、指掛けフランジ 6 6 が本来の位置にある指掛けフランジスロット 6 8 を示す、図 4 1 の詳細図である。

【図 4 5】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 6】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 7】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 4 8】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図であり、特に、図 3 9 における指掛けフランジスロット 6 8 の詳細図である。

【図 4 9】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 0】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 1】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 2】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 3】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 4】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 5】図 2 9 及び図 3 0 の実施形態のためのパレル、ブランジャ及びガイドワイヤアタッチメントの固定を示す詳細図である。

【図 5 6】指リングを後方に引き込むことによって吸引をシリンジパレルにどのように供給することができるか、を示し、これは通常、臨床医が新たな開始が望ましいと感じるときに、身体の外でシリンジを用いてのみ行われるべきである。

【図 5 7】指リングを前方に動かすことによってシリンジのブランジャをどのように前進させることができるかを示し、これは通常、臨床医が新たな開始が望ましいと感じるとき

に、身体の外でシリンジを用いてのみ行われるべきである。

【図 5 8】「柄型ハンドル」構成を有する本発明の実施形態を示す。

【図 5 9】セルジナー法の開始時に通常通りスライダが前進した状態の、図 5 8 の本発明の柄型ハンドル実施形態を示す。これに対し、図 5 8 では、スライダは、シリンジ内にならずかな真空を引き起こすように引き込まれており、医師が、針が液体充填領域に入ったときを判断することを可能にする一方で、もう片方の手で、針が適切に位置決めされたことを確認するための超音波診断装置を操作することを可能にする。

【図 6 0】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の平面図である。

【図 6 1】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の正面図である。

【図 6 2】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の、図 6 1 における 6 2 - 6 2 に沿って取得された断面図である。

【図 6 3】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の左側面図である。

【図 6 4】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の右側面図である。

【図 6 5】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の背面図である。

【図 6 6】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の底面図である。

【図 6 7】図 5 8 及び図 5 9 の実施形態の展開図である。

【図 6 8】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 6 9】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 0】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 1】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図であり、指掛けフランジ 6 6 が本来の位置にある指掛けフランジスロット 6 8 を示す、図 6 8 の詳細図である。

【図 7 2】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 3】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 4】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 5】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 6】シリンジのパレル上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図であり、特に、図 6 7 における指掛けフランジスロット 6 8 の詳細図である。

【図 7 7】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 8】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 7 9】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 8 0】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 8 1】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 8 2】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 8 3】シリンジのプランジャ上のフランジの確実で、しっかりと付着した、定位置にスナップ係合された配置を確保するための装着特徴を示す詳細図である。

【図 8 4】スライダが後方位置にある本発明の固定具を示す下側斜視図である。

【図 8 5】スライダが前方位置にある本発明の固定具を示す下側斜視図である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

図 2 6 ~ 図 2 8 A は、操作者がかなりの緊急性を有して挿入デバイス 1 0、シリンジ 5 4、ワイヤガイド送給部モジュール 3 6 及びカセット 1 4 を組み立てる必要がある場合がある、緊急治療室等の状況のために意図された本発明の挿入デバイス 1 0 の変形形態を示す。保持リング 5 8 が保持コーン 8 6 と置き換えられている一方で、指掛けフランジ係止部 6 4、バレルクリップ 6 0 及びブランジャフランジクリップ 7 4 に、シリンジ 5 4 の嵌合部分の高速な挿入を促進する外部ガイド 6 4 G、6 0 G 及び 7 4 G が設けられていることを理解することができる。図 2 7 は、指掛けフランジ 6 6 を、指掛けフランジスロット 6 8 に水平方向又は垂直方向に装着することができる方法を示す。同様に、図 2 8 A は、ブランジャフランジ 7 0 とブランジャフランジクリップ 7 4 との嵌合を示す。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】

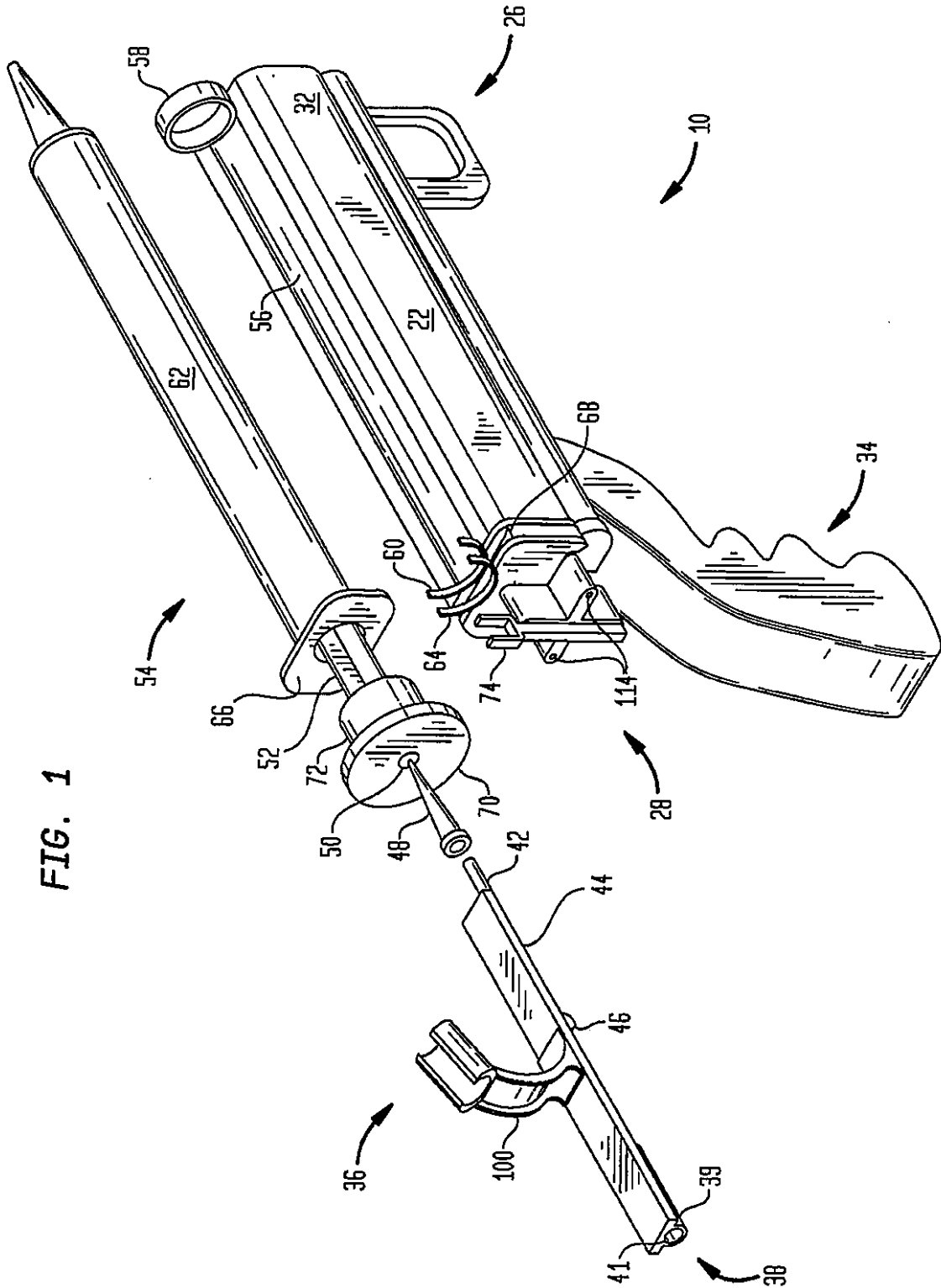


FIG. 1

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 2 】

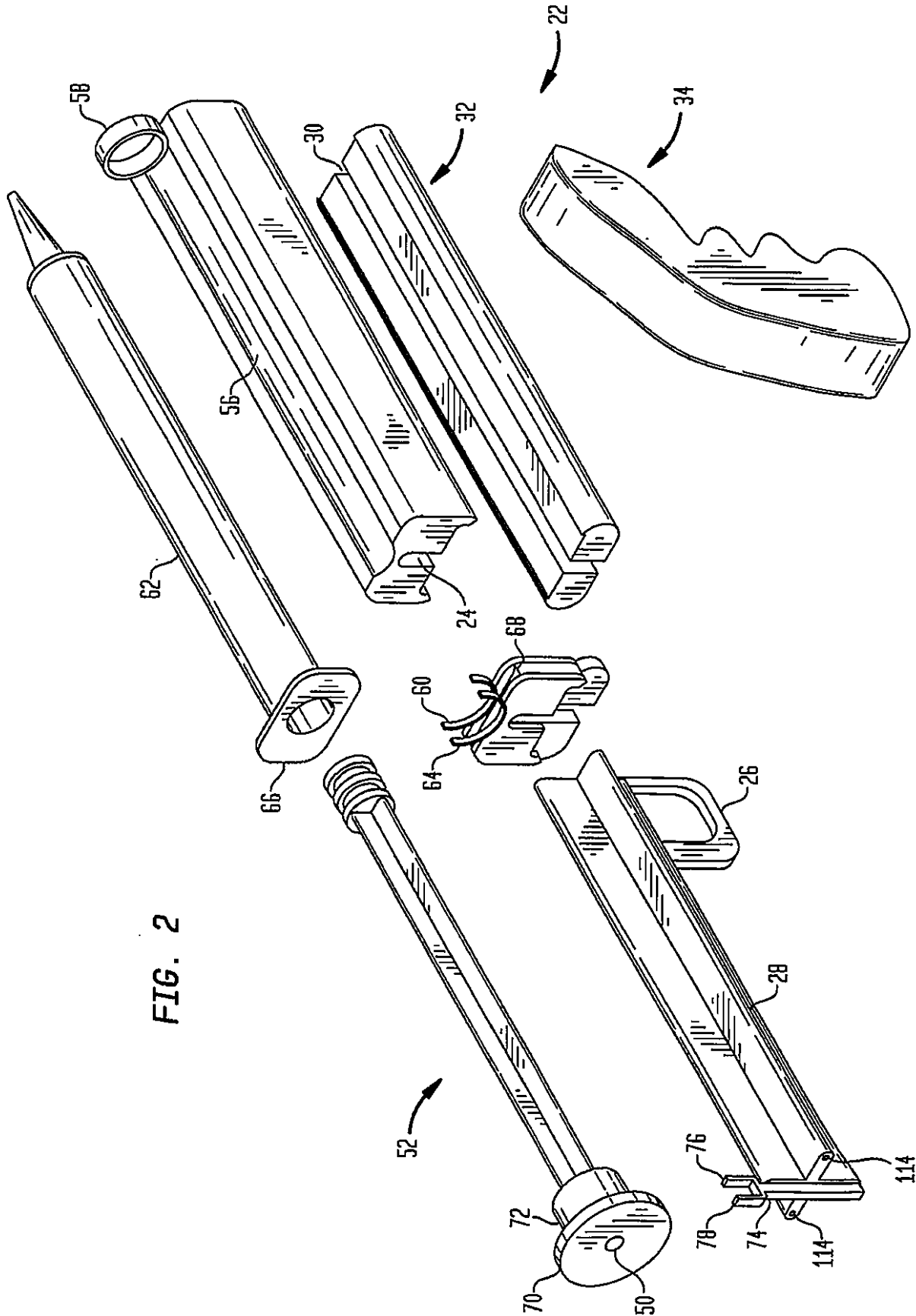


FIG. 2

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 3 】

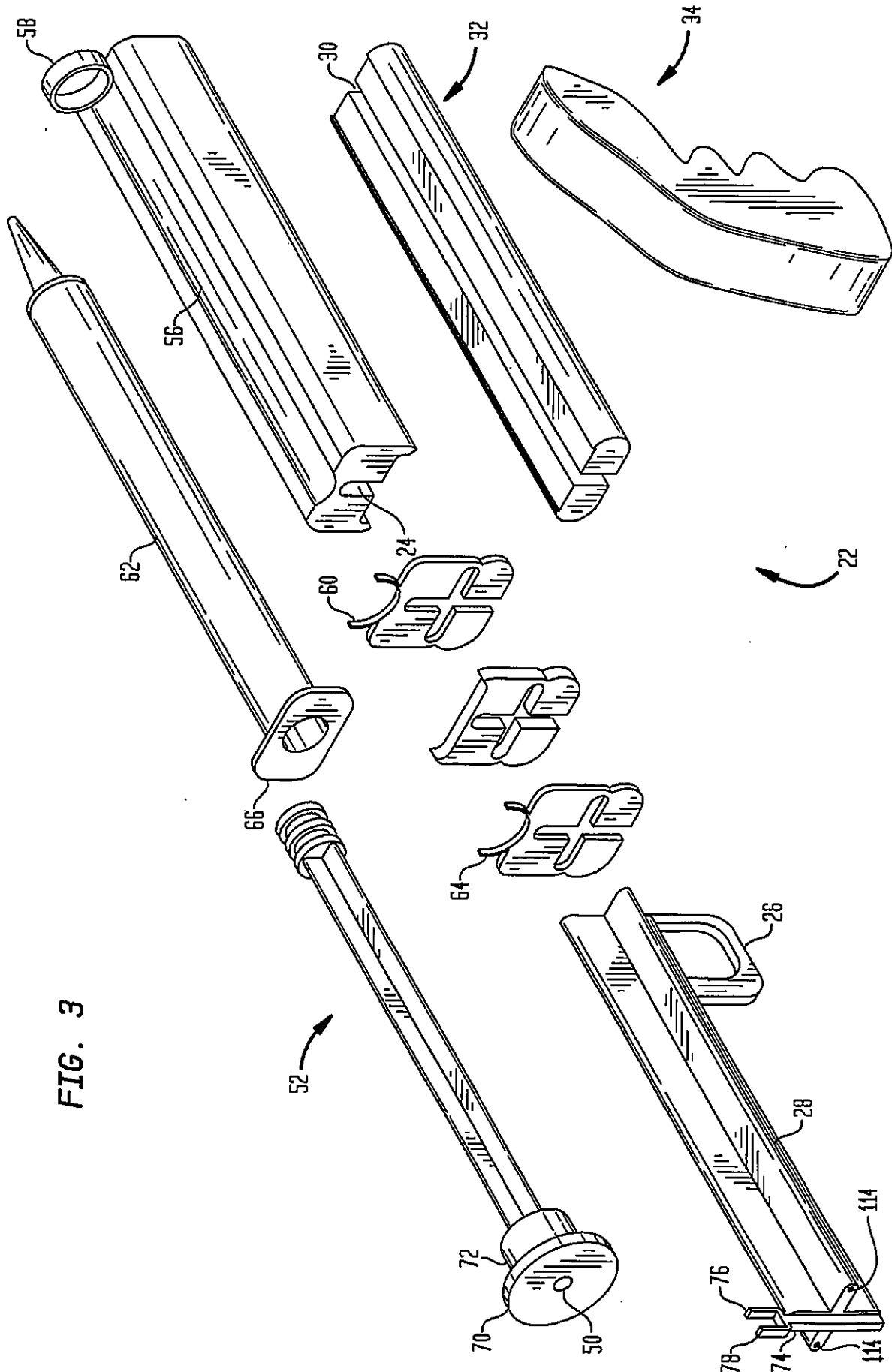


FIG. 3

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図4】

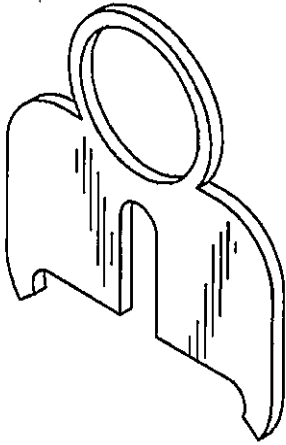
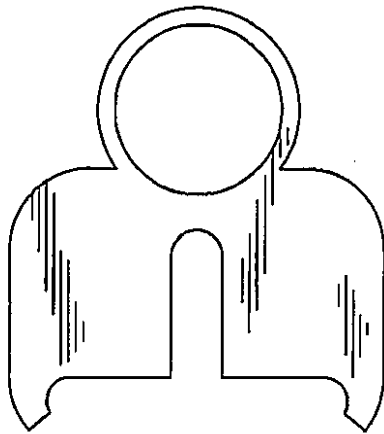


FIG. 4

【手続補正9】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図5】

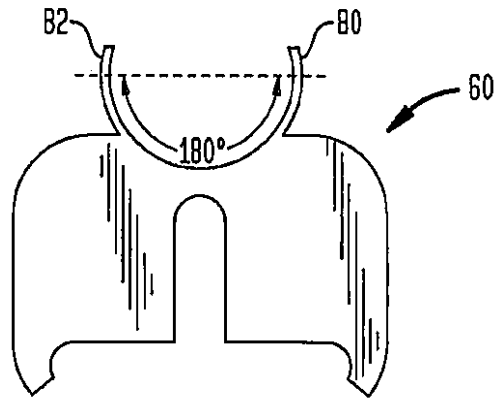
FIG. 5



【手続補正10】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図6
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 図 6 】

FIG. 6



【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 7 】

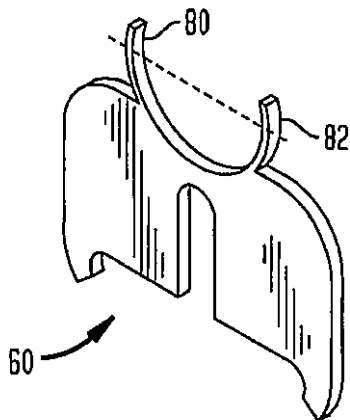


FIG. 7

【 手続補正 1 2 】

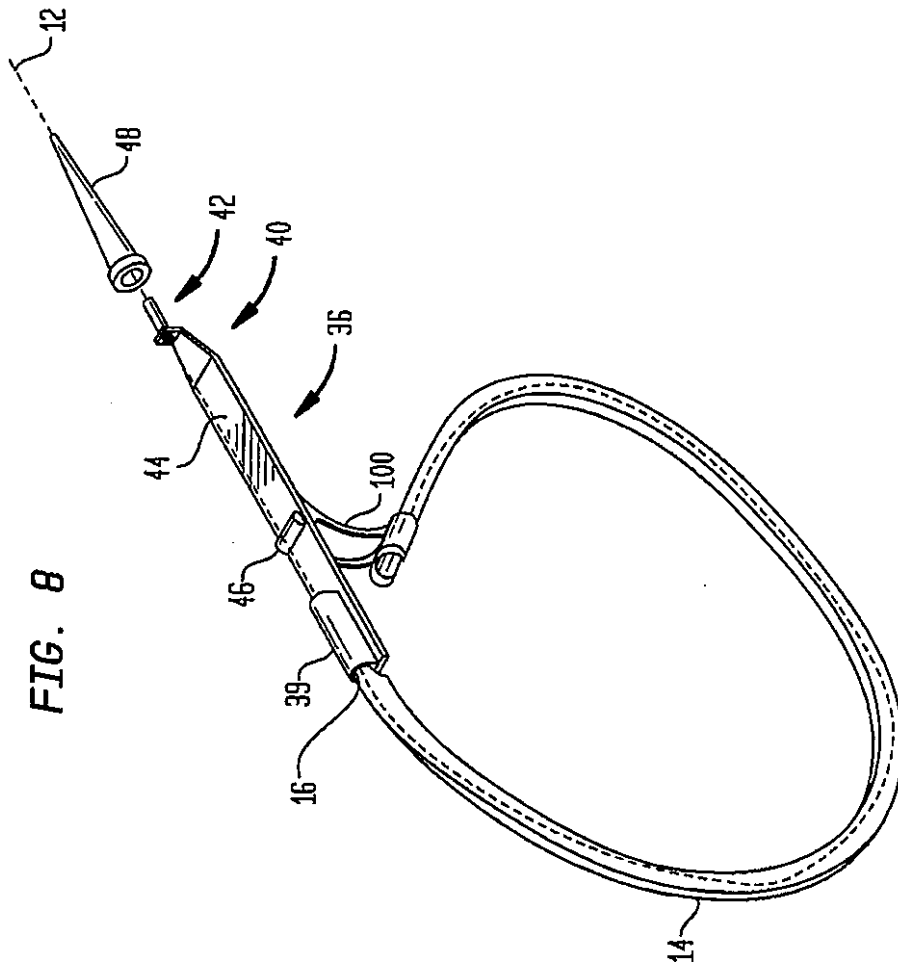
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 8 】



【 手続補正 1 3 】

【 補正対象書類名 】 図面

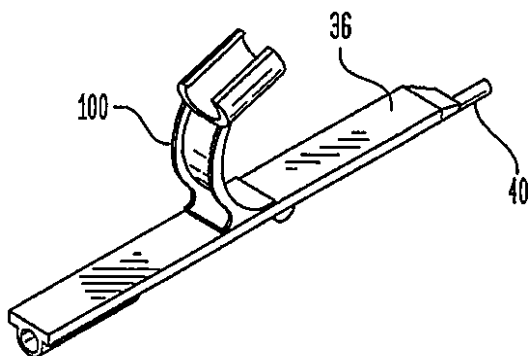
【 補正対象項目名 】 図 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 9 】

FIG. 9



【 手続補正 1 4 】

【 補正対象書類名 】 図面

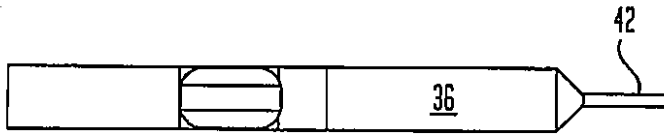
【 補正対象項目名 】 図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図10】

FIG. 10



【手続補正15】

【補正対象書類名】図面

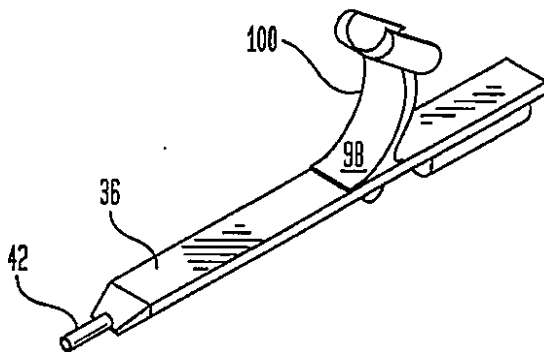
【補正対象項目名】図11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図11】

FIG. 11



【手続補正16】

【補正対象書類名】図面

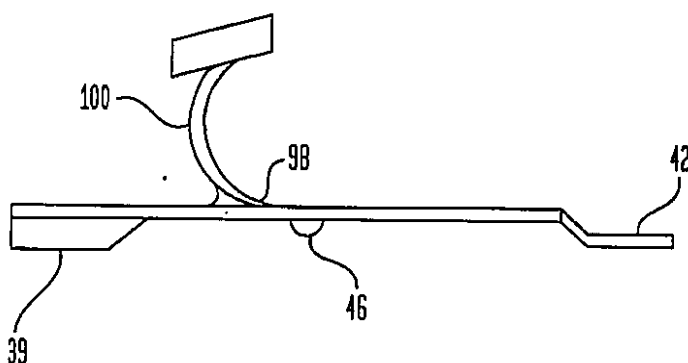
【補正対象項目名】図12

【補正方法】変更

【補正の内容】

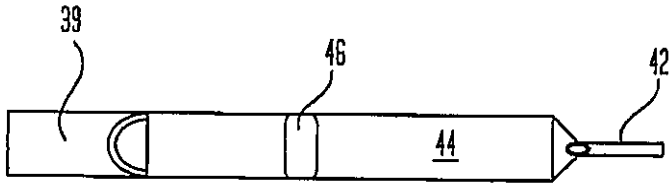
【図12】

FIG. 12



- 【手続補正 17】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 13
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 13】

FIG. 13



- 【手続補正 18】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 14
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】

【 図 1 4 】

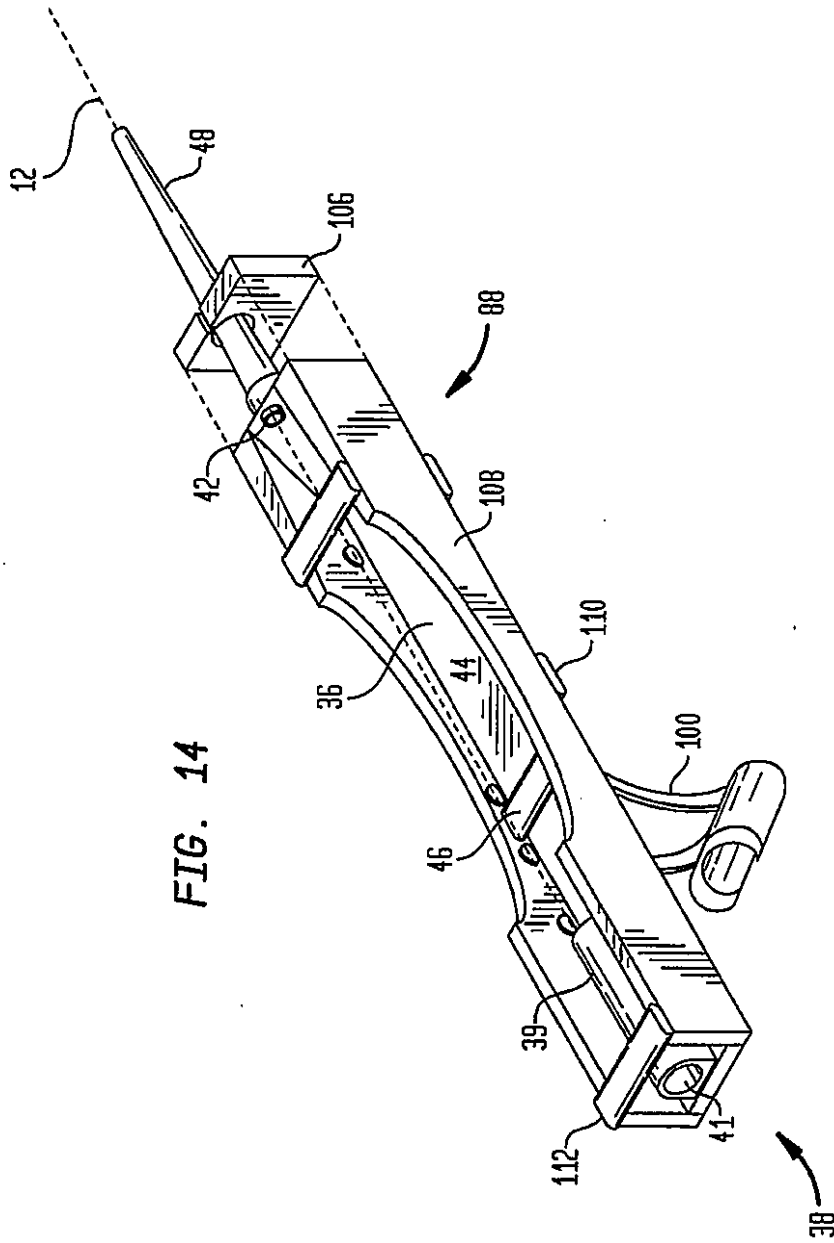


FIG. 14

【 手続補正 1 9 】

【 補正対象書類名 】 図面

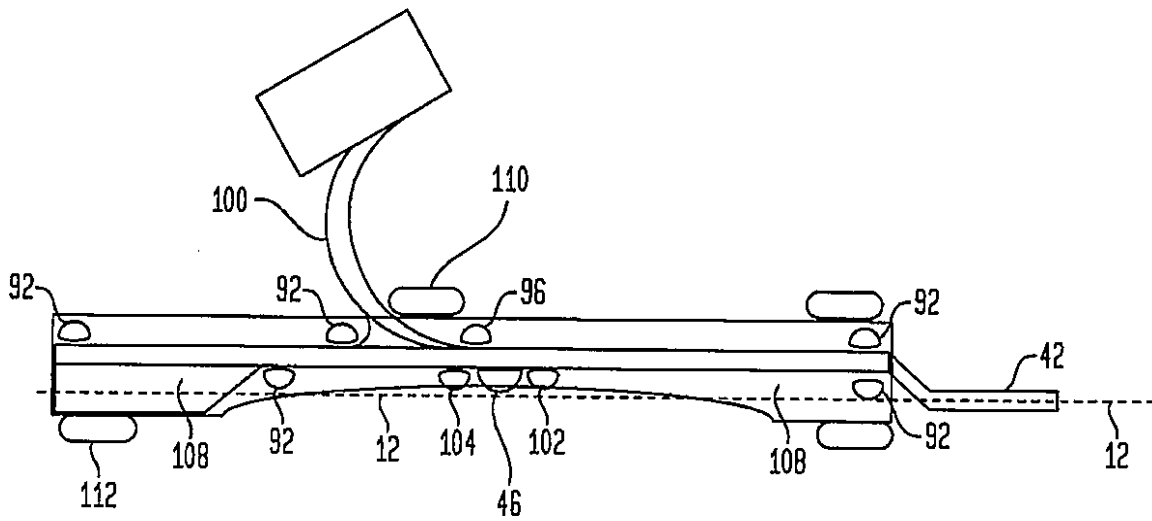
【 補正対象項目名 】 図 1 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 2 2 】

FIG. 22



【 手続補正 2 1 】

【 補正対象書類名 】 図面

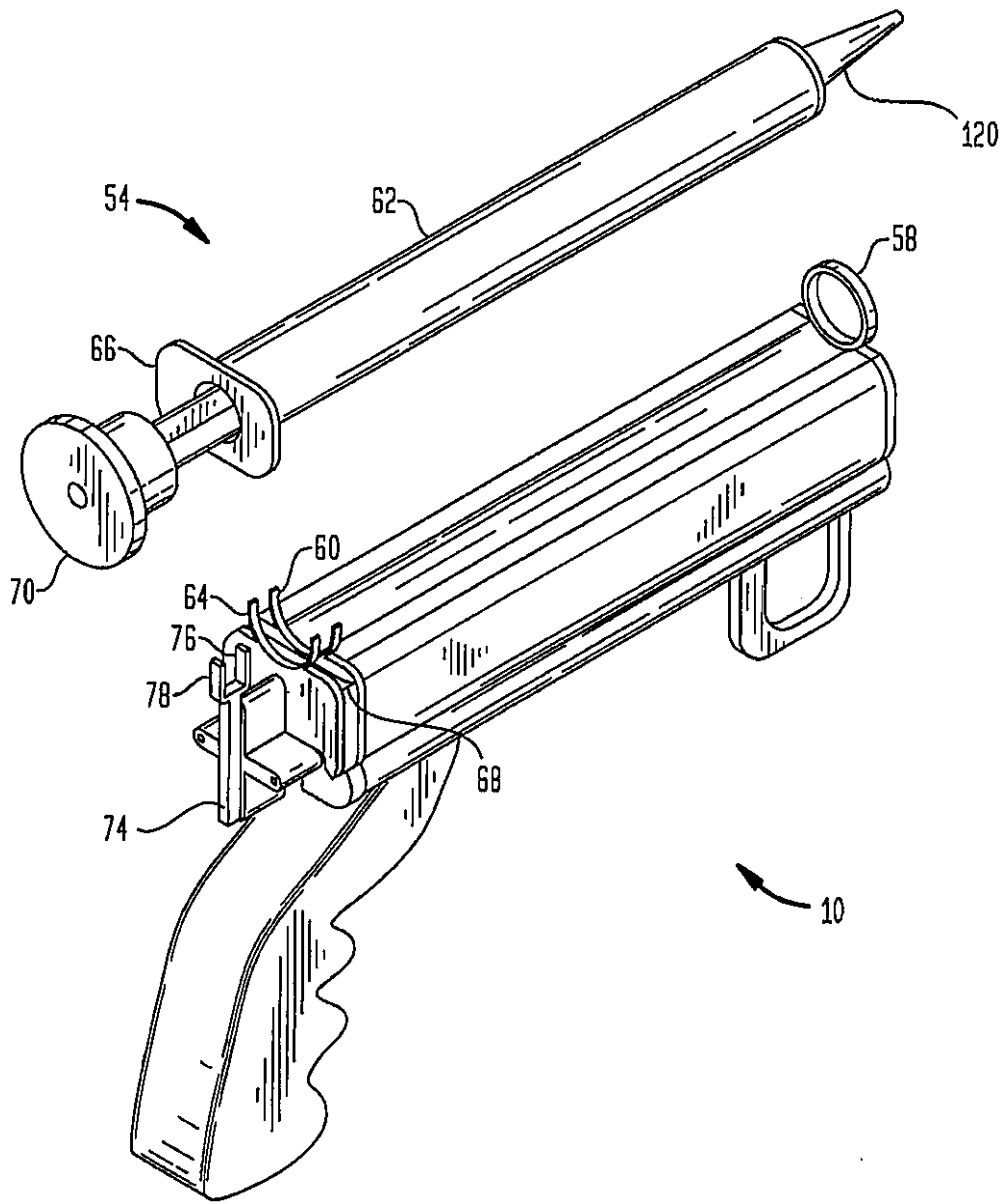
【 補正対象項目名 】 図 2 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 2 3 】

FIG. 23



【 手続補正 2 2 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 2 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 2 4 】

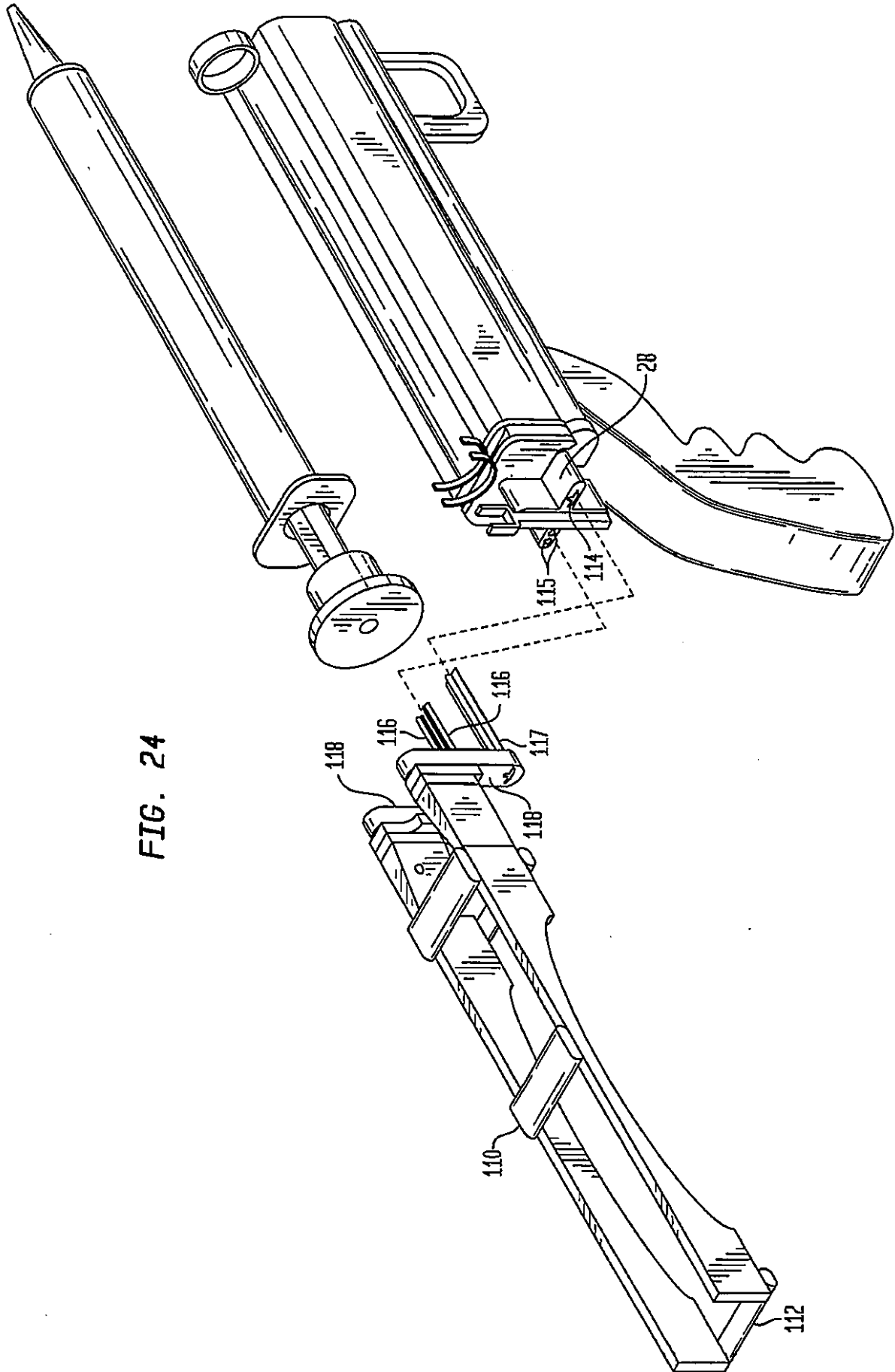
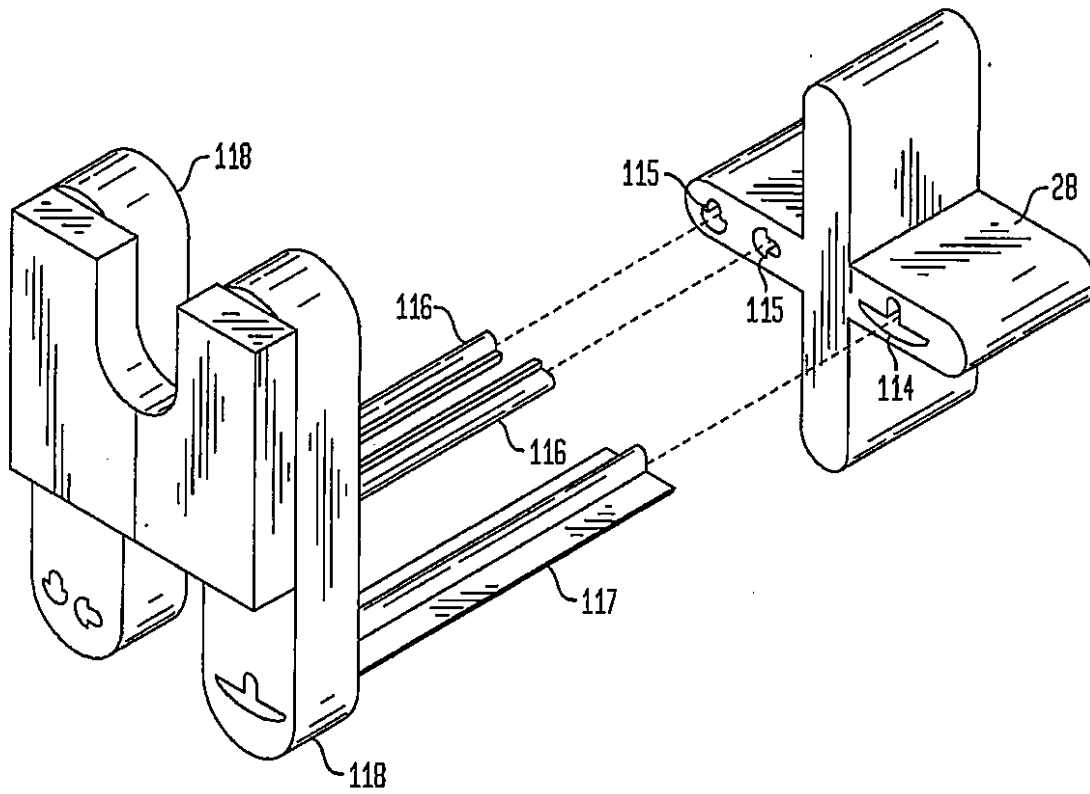


FIG. 24

【 手続補正 2 3 】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 2 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 2 5】

FIG. 25



【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 2 6
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 図 2 6 】

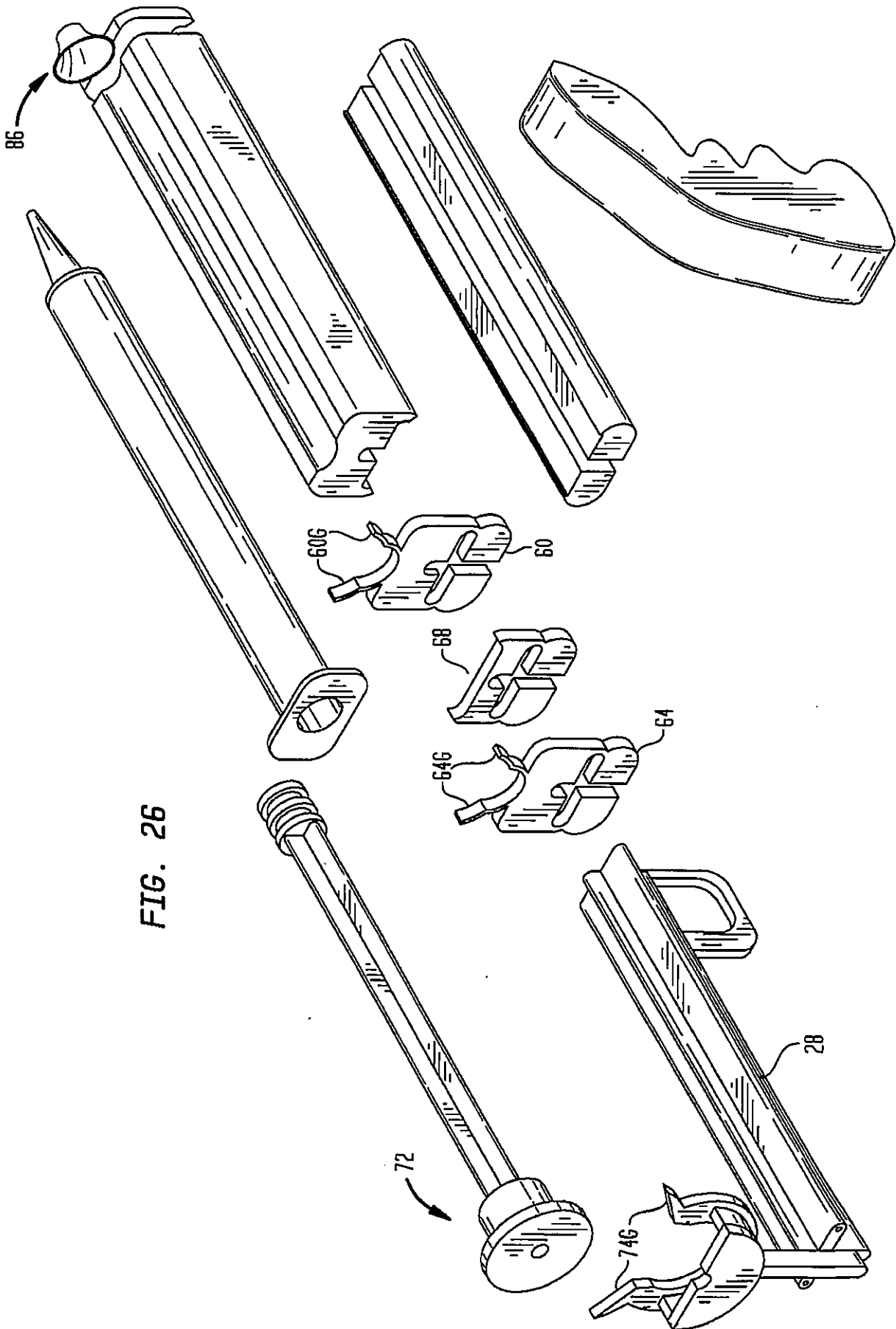
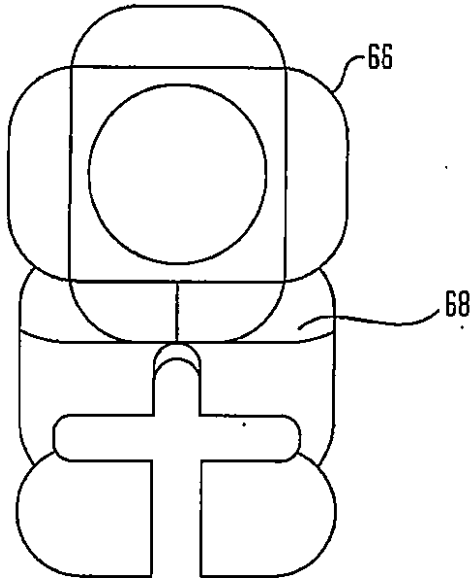


FIG. 26

【 手続補正 2 5 】

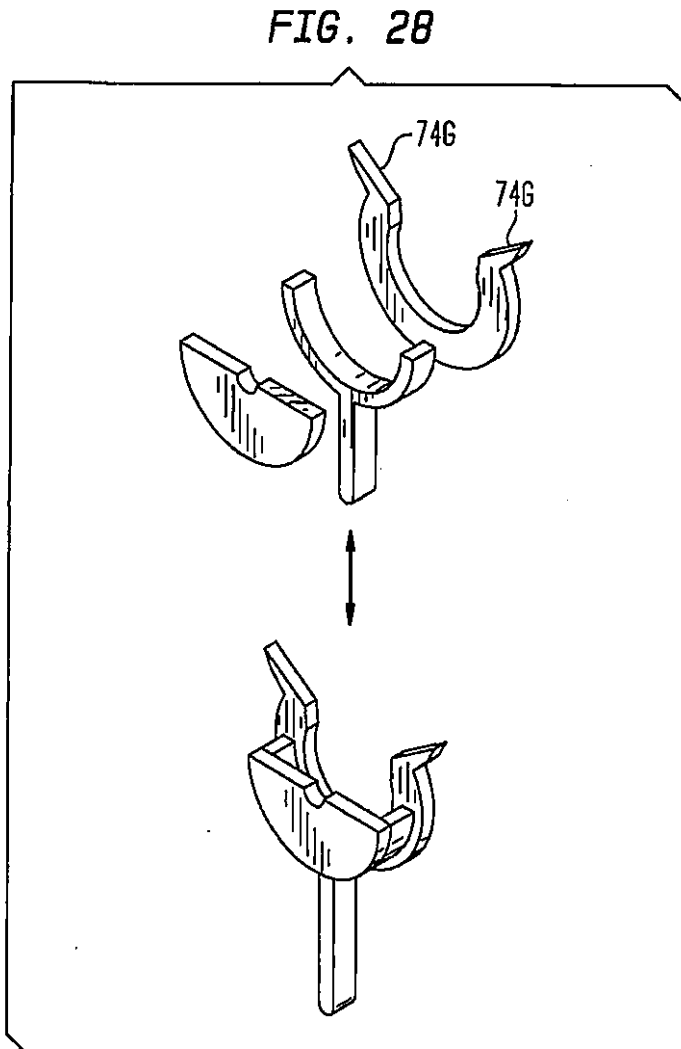
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 2 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 2 7】

FIG. 27



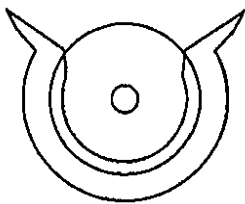
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 2 8
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 2 8】



- 【手続補正 2 7】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 2 8 A
- 【補正方法】追加
- 【補正の内容】
- 【図 2 8 A】

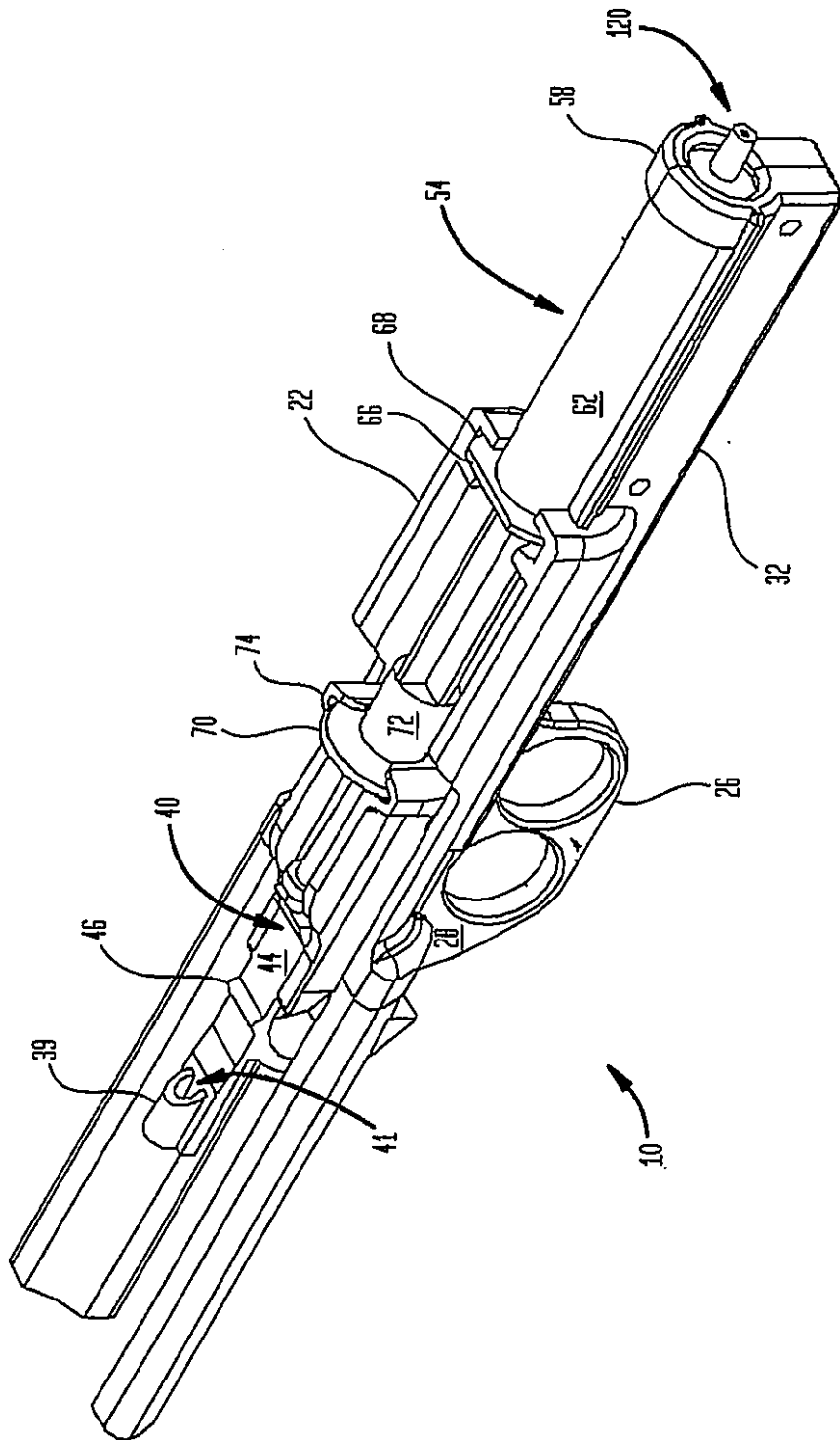
FIG. 28A



- 【手続補正 2 8】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 2 9
- 【補正方法】変更

【補正の内容】
【図 29】

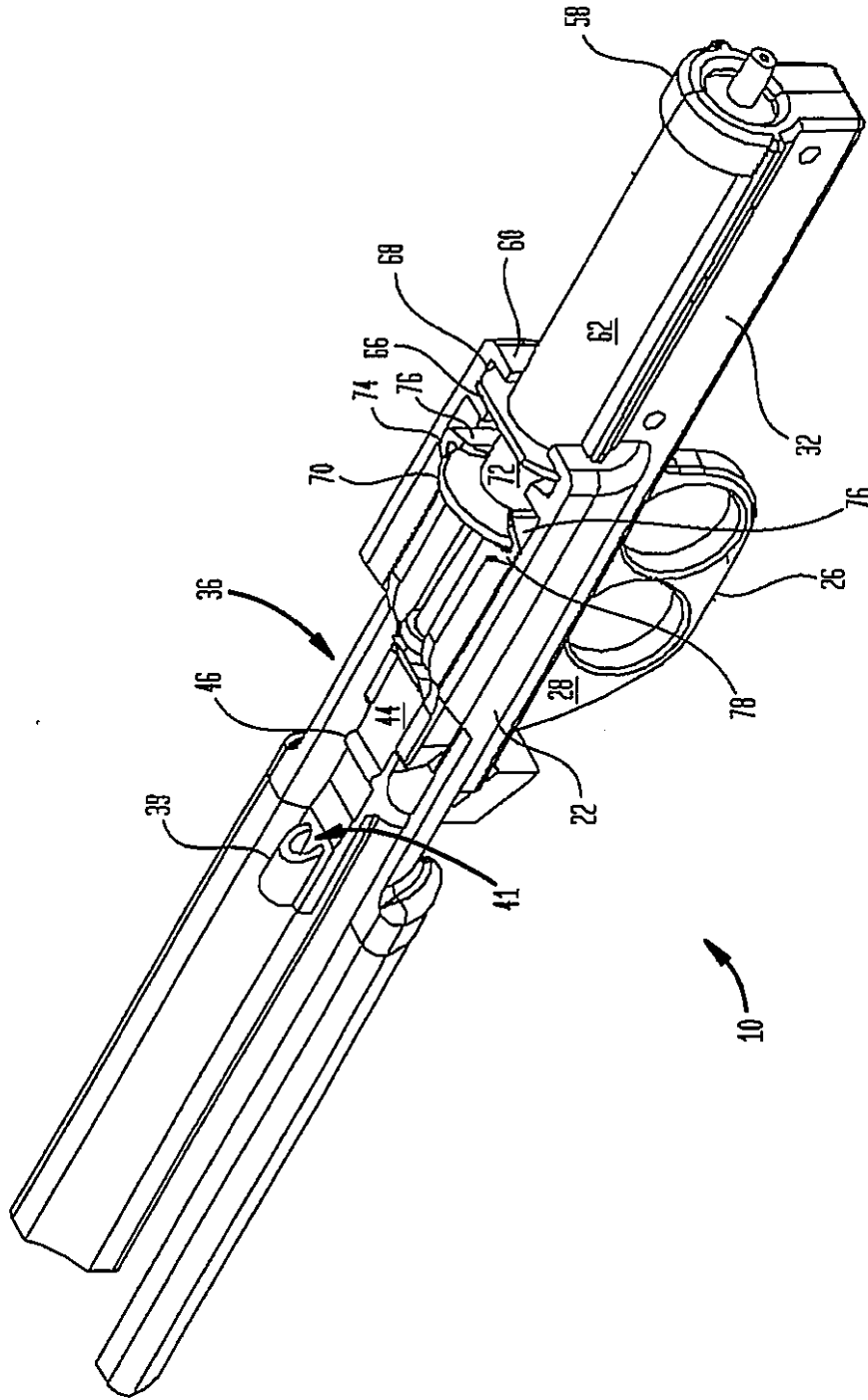
FIG. 29



【手続補正 29】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 30
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 30】

FIG. 30



【手続補正 30】

【補正対象書類名】図面

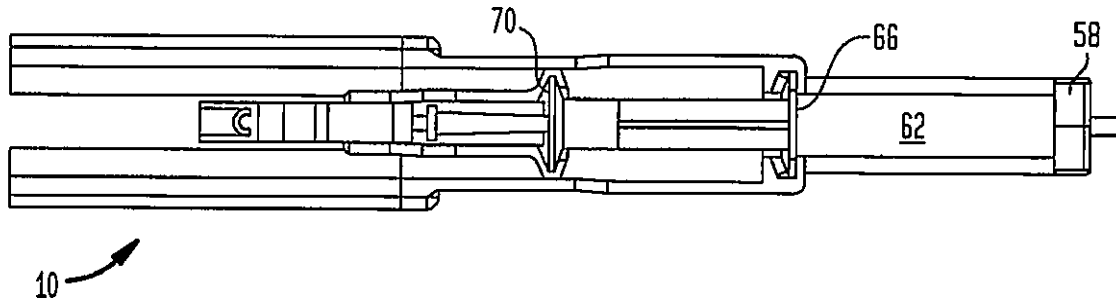
【補正対象項目名】図 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 1】

FIG. 31



【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】図面

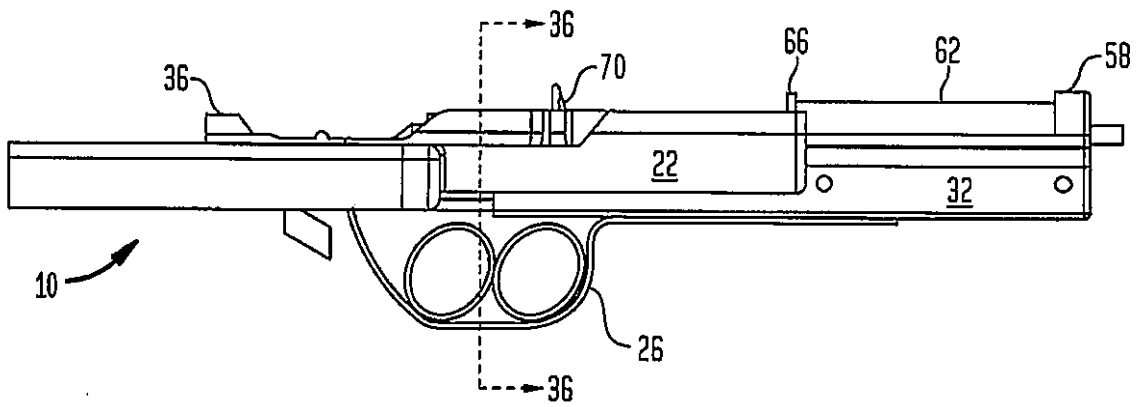
【補正対象項目名】図 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 2】

FIG. 32



【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】図面

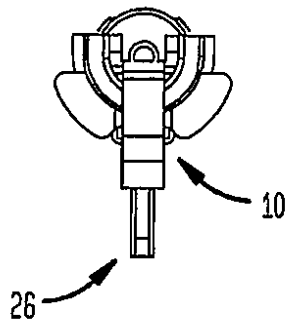
【補正対象項目名】図 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 3】

FIG. 33



【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】図面

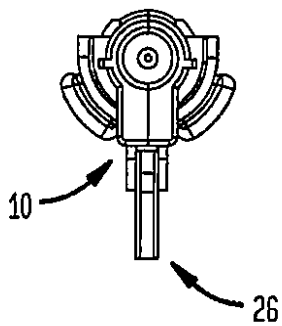
【補正対象項目名】図 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 4】

FIG. 34



【手続補正 3 4】

【補正対象書類名】図面

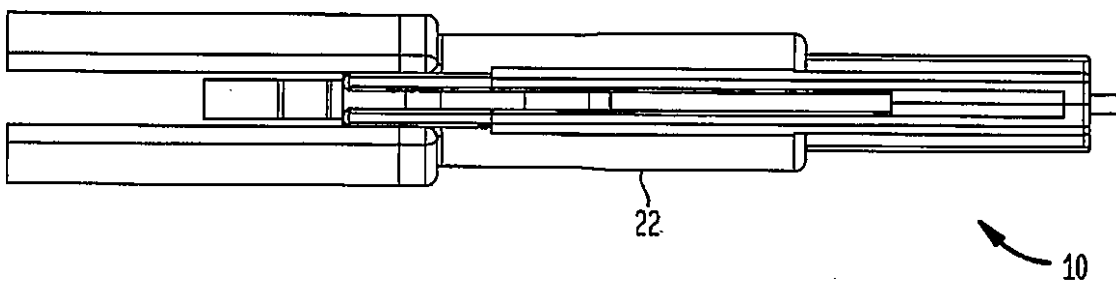
【補正対象項目名】図 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

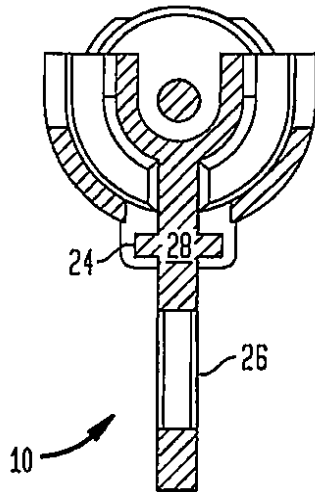
【図 3 5】

FIG. 35



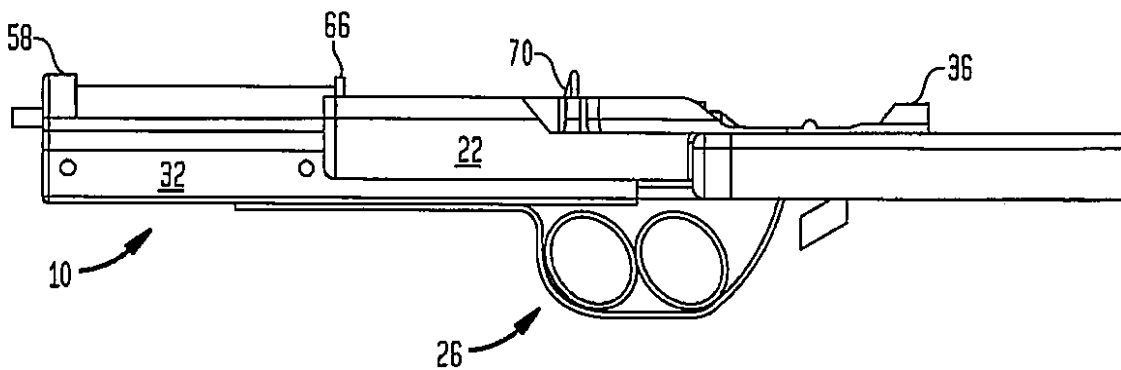
【手続補正 3 5】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 3 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 3 6】

FIG. 36



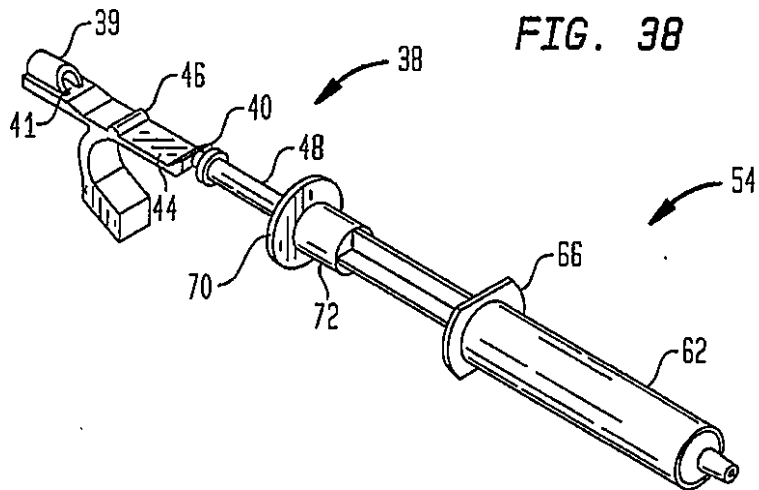
【手続補正 3 6】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 3 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 3 7】

FIG. 37



【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 3 8
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 3 8】



【手続補正 3 8】

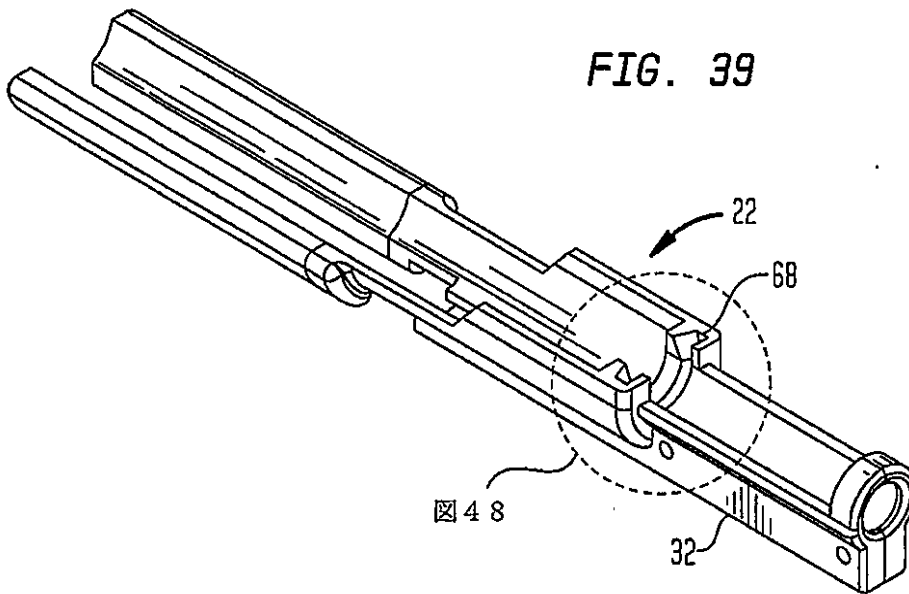
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 9】



【手続補正 3 9】

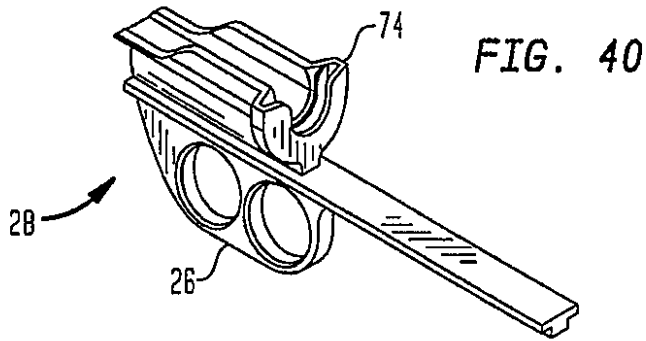
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 0】



【手続補正 4 0】

【補正対象書類名】図面

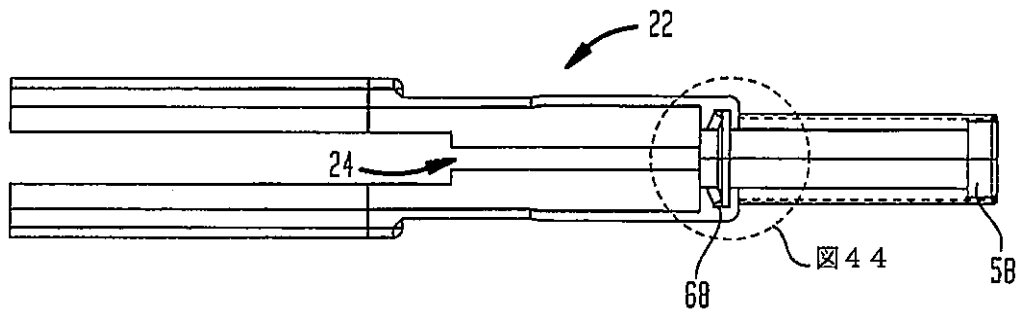
【補正対象項目名】図 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 1】

FIG. 41



【手続補正 4 1】

【補正対象書類名】図面

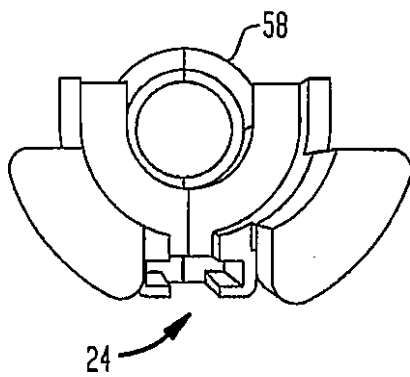
【補正対象項目名】図 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 2】

FIG. 42



【手続補正 4 2】

【補正対象書類名】図面

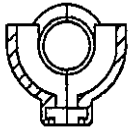
【補正対象項目名】図 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 3】

FIG. 43



【手続補正 4 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 4】

FIG. 44

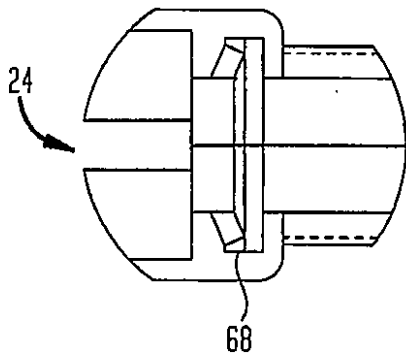
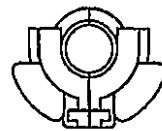


FIG. 44A



【手続補正 4 4】

【補正対象書類名】図面

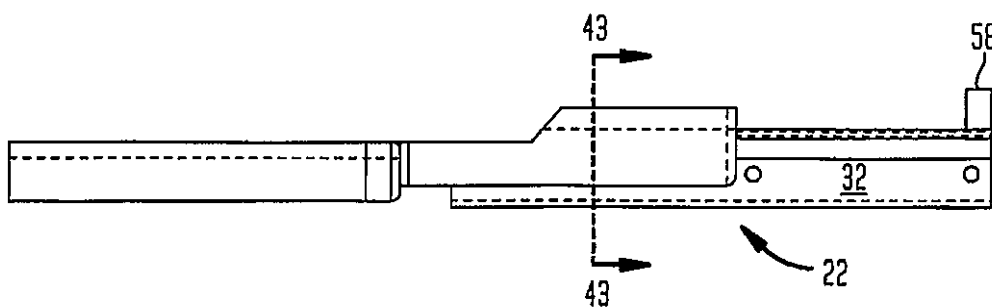
【補正対象項目名】図 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 5】

FIG. 45



【手続補正 4 5】

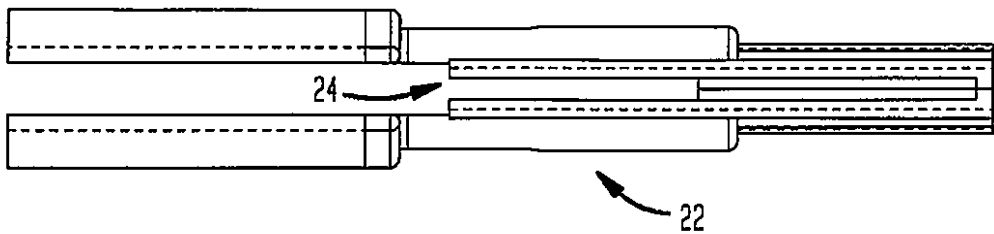
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 4 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 4 6】

FIG. 46



【手続補正 4 6】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 4 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 4 7】

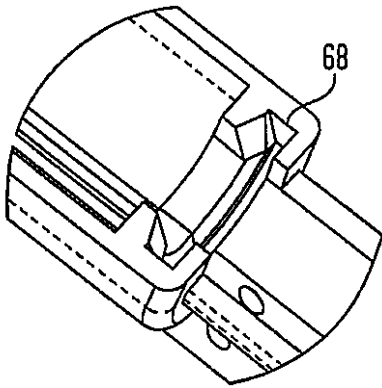
FIG. 47



【手続補正 4 7】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 4 8
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 4 8】

FIG. 48



【手続補正 4 8】

【補正対象書類名】図面

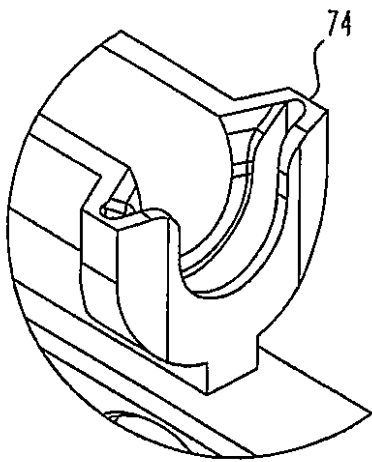
【補正対象項目名】図 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4 9】

FIG. 49



【手続補正 4 9】

【補正対象書類名】図面

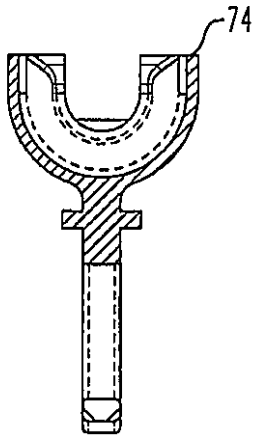
【補正対象項目名】図 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 0】

FIG. 50



【手続補正 5 0】

【補正対象書類名】図面

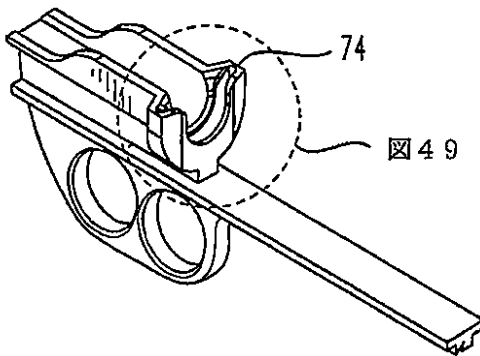
【補正対象項目名】図 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 1】

FIG. 51



【手続補正 5 1】

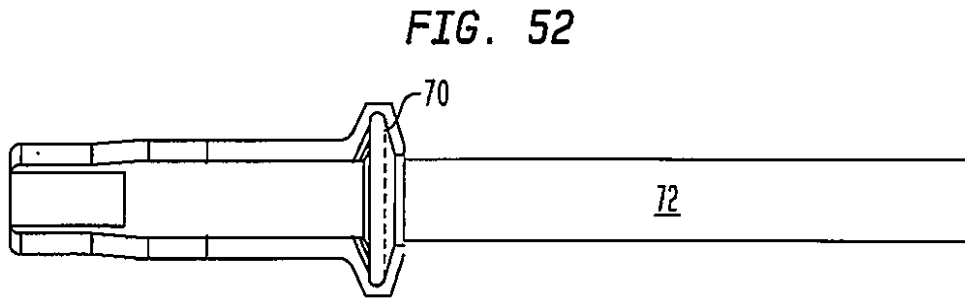
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 2】



【手続補正 5 2】

【補正対象書類名】図面

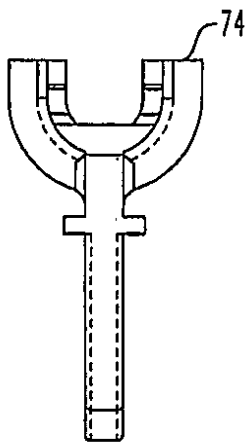
【補正対象項目名】図 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 3】

FIG. 53



【手続補正 5 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 4】

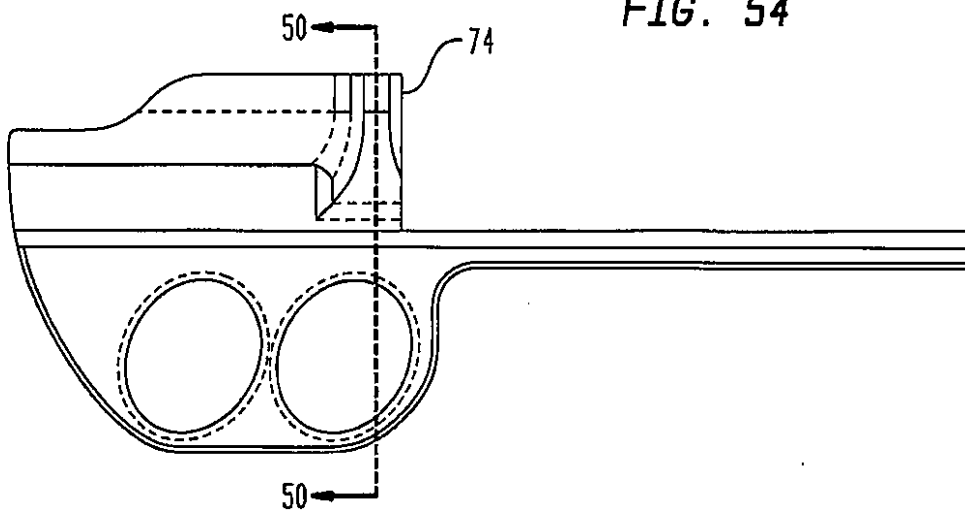


FIG. 54

【手続補正 5 4】

【補正対象書類名】図面

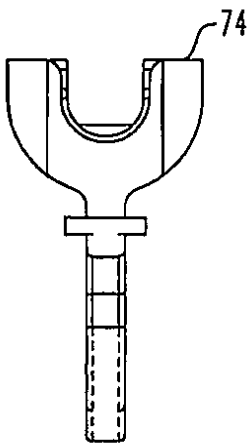
【補正対象項目名】図 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5 5】

FIG. 55



【手続補正 5 5】

【補正対象書類名】図面

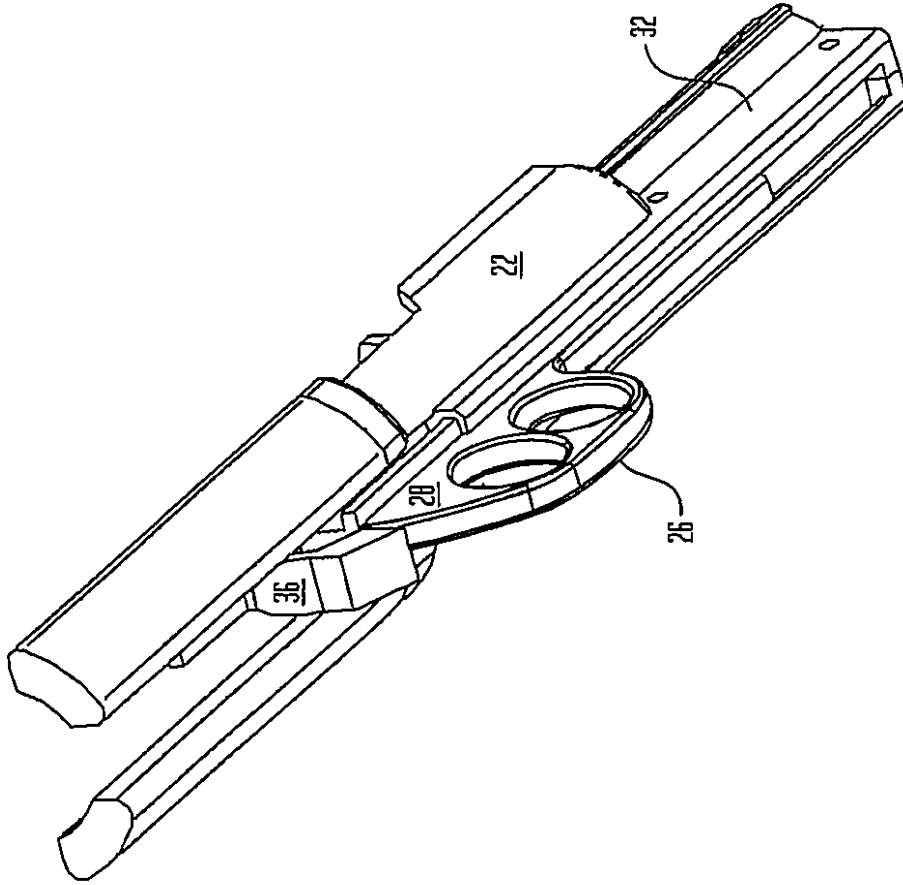
【補正対象項目名】図 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 5 6 】

FIG. 56



【 手続補正 5 6 】

【 補正対象書類名 】 図面

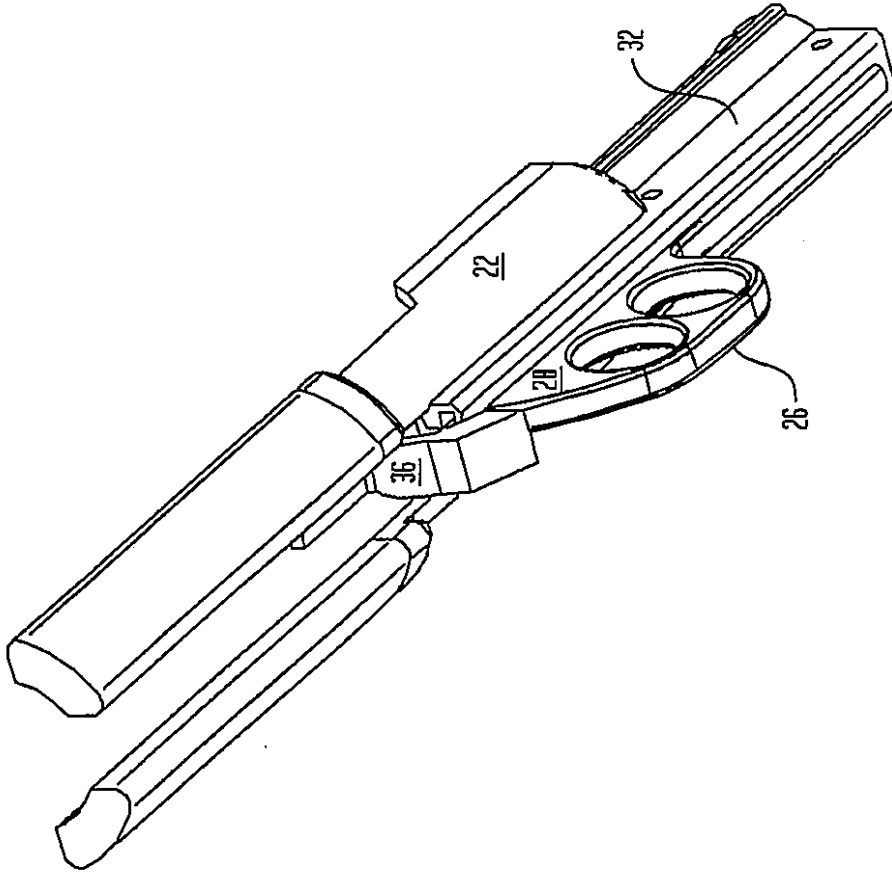
【 補正対象項目名 】 図 5 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 5 7 】

FIG. 57



【 手続補正 5 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

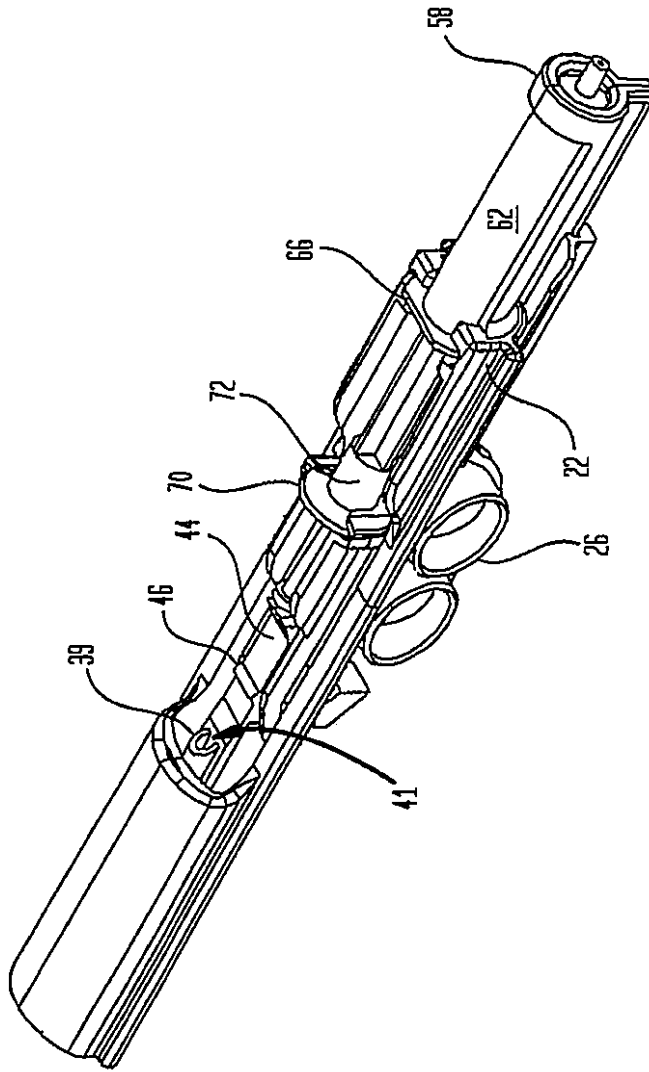
【 補正対象項目名 】 図 5 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【図 5 8】

FIG. 5B



【手続補正 5 8】

【補正対象書類名】図面

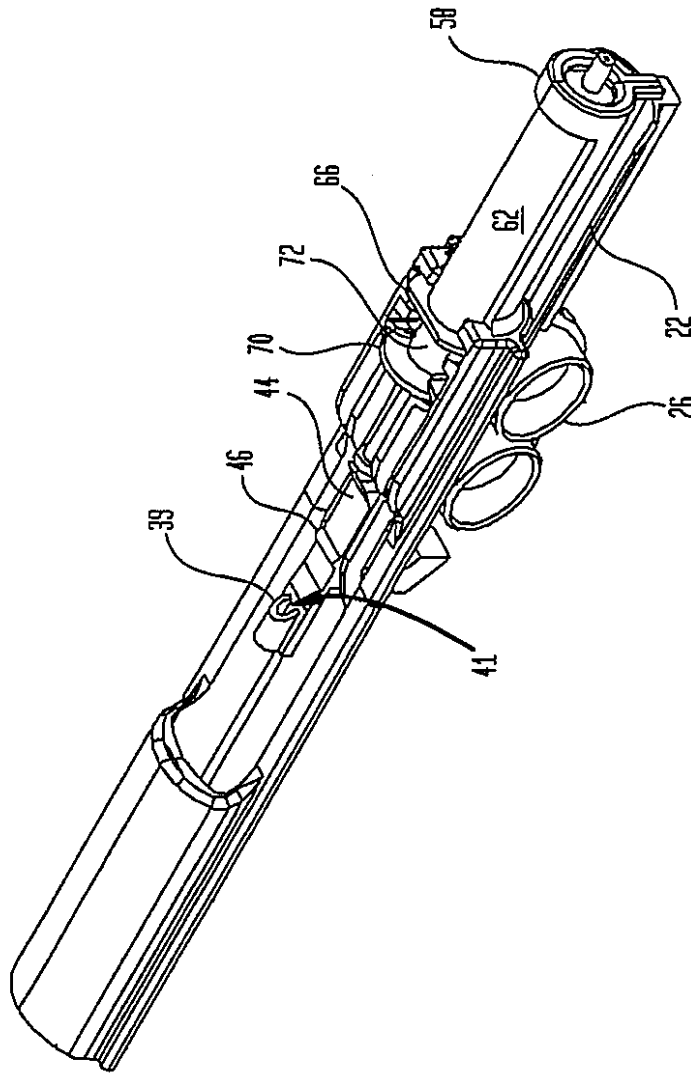
【補正対象項目名】図 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 59】

FIG. 59



【手続補正 59】

【補正対象書類名】図面

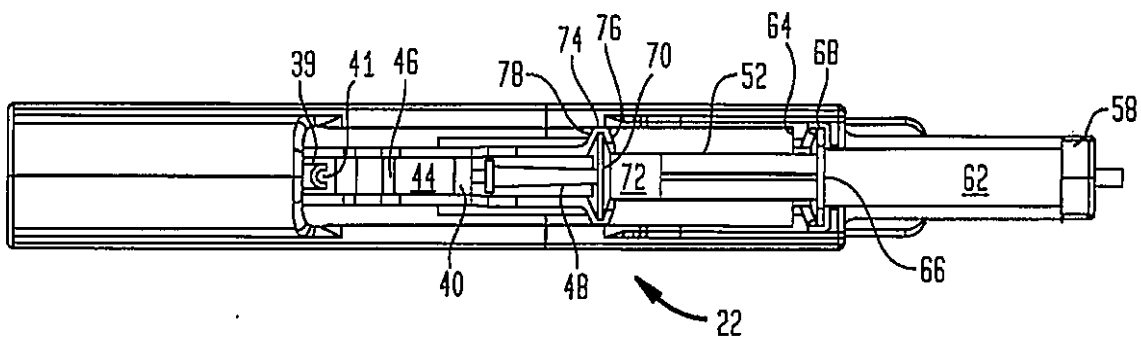
【補正対象項目名】図 60

【補正方法】変更

【補正の内容】

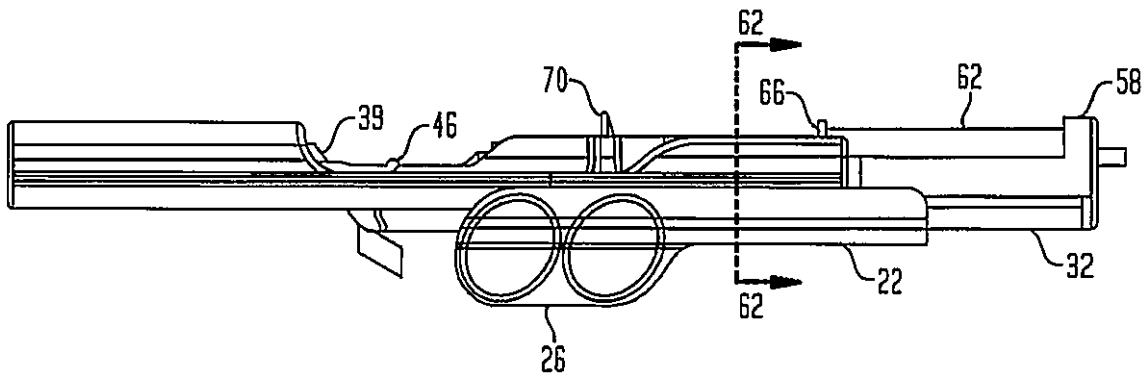
【図 60】

FIG. 60



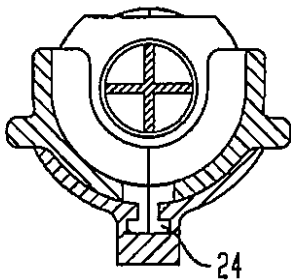
- 【手続補正 6 0】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 6 1
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 6 1】

FIG. 61



- 【手続補正 6 1】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 6 2
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 6 2】

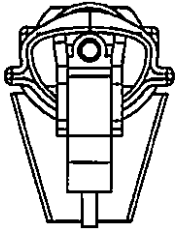
FIG. 62



- 【手続補正 6 2】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 6 3
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】

【図 6 3】

FIG. 63



【手続補正 6 3】

【補正対象書類名】図面

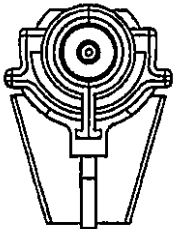
【補正対象項目名】図 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 4】

FIG. 64



【手続補正 6 4】

【補正対象書類名】図面

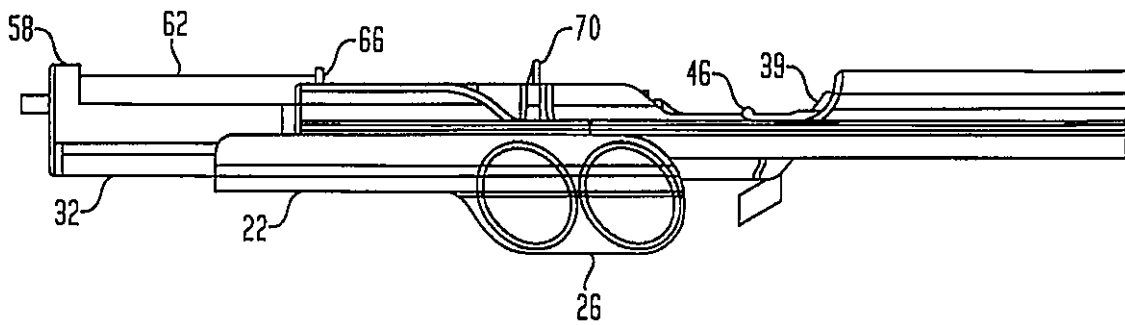
【補正対象項目名】図 6 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 5】

FIG. 65



【手続補正 6 5】

【補正対象書類名】図面

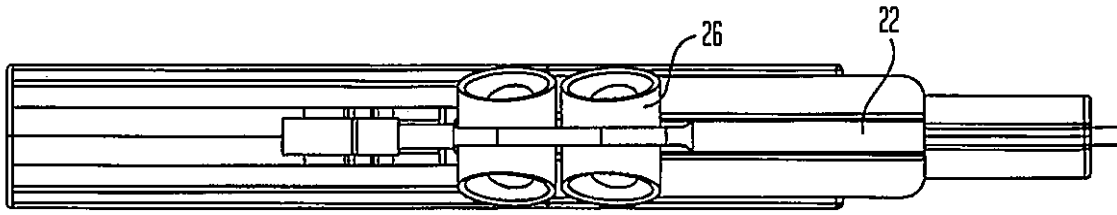
【補正対象項目名】図 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 6】

FIG. 66



【手続補正 6 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 6 7 】

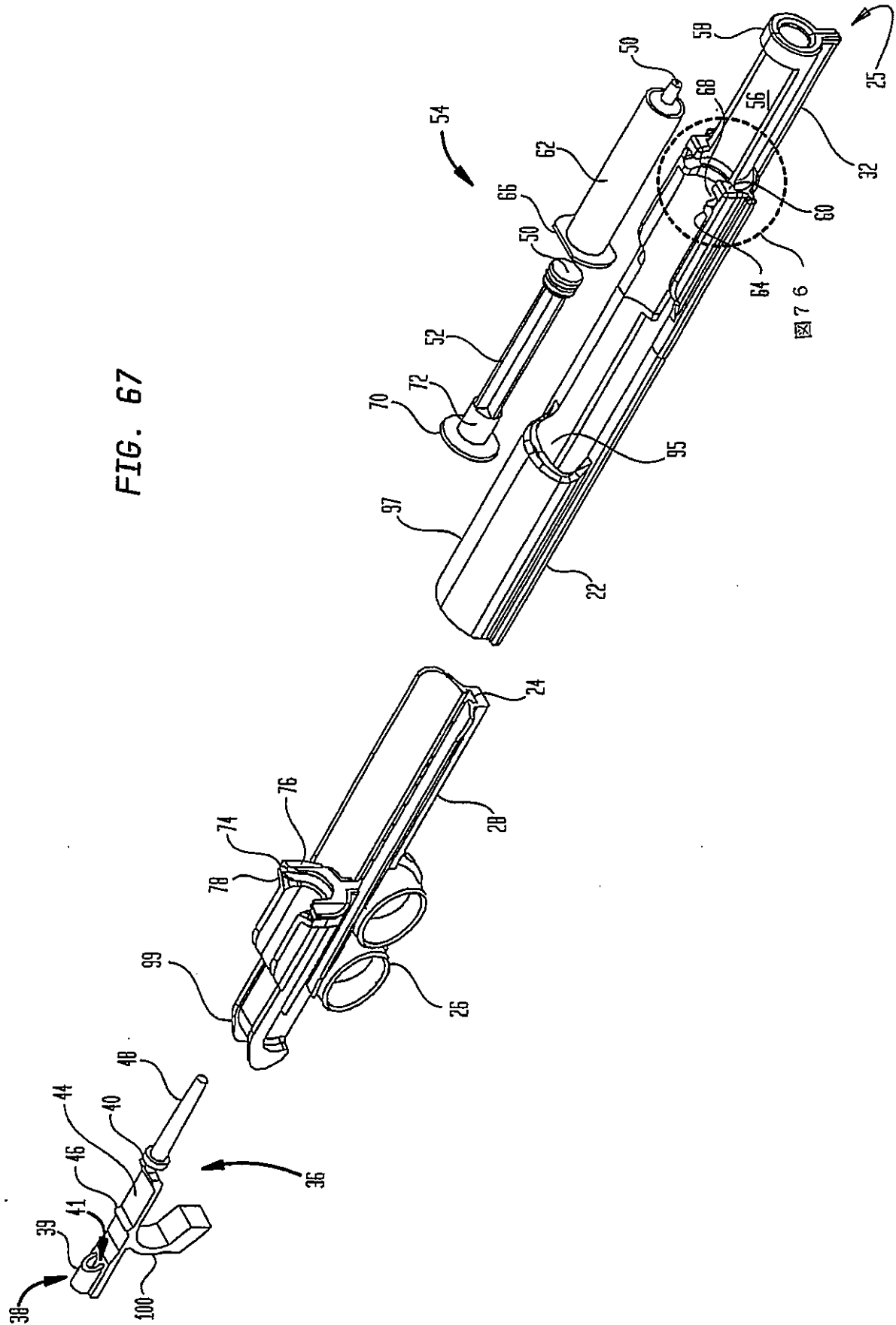


FIG. 67

【 手続補正 6 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

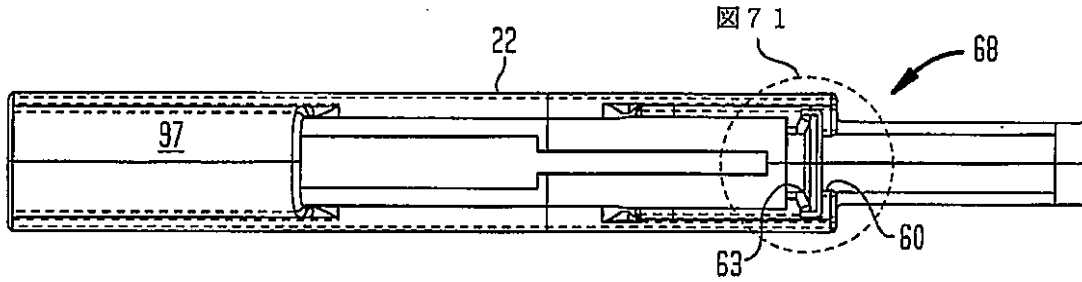
【補正対象項目名】図 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 8】

FIG. 68



【手続補正 6 8】

【補正対象書類名】図面

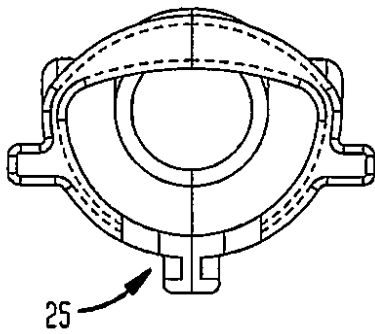
【補正対象項目名】図 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6 9】

FIG. 69



【手続補正 6 9】

【補正対象書類名】図面

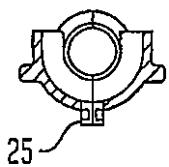
【補正対象項目名】図 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

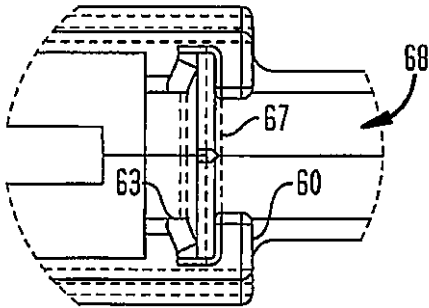
【図 7 0】

FIG. 70



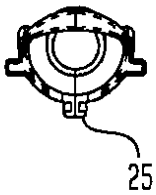
- 【手続補正 7 0】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 1
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 7 1】

FIG. 71



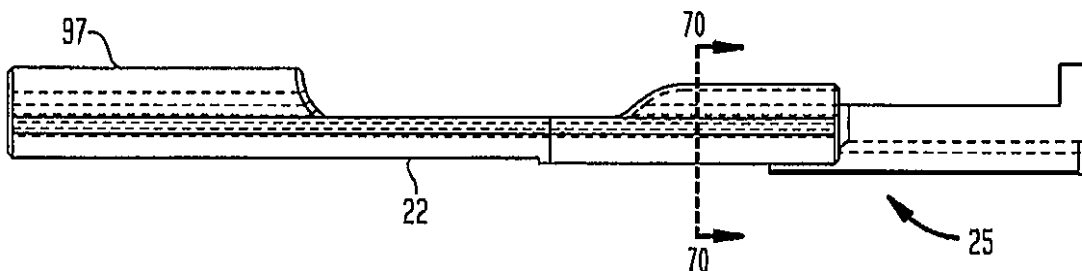
- 【手続補正 7 1】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 2
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 7 2】

FIG. 72



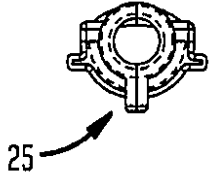
- 【手続補正 7 2】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 3
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 7 3】

FIG. 73



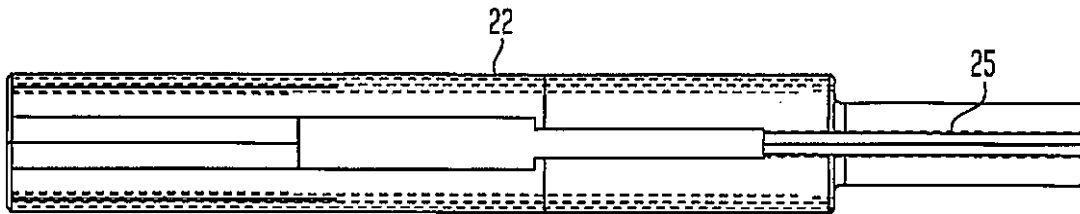
- 【手続補正 7 3】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 4
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 7 4】

FIG. 74



- 【手続補正 7 4】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 5
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 7 5】

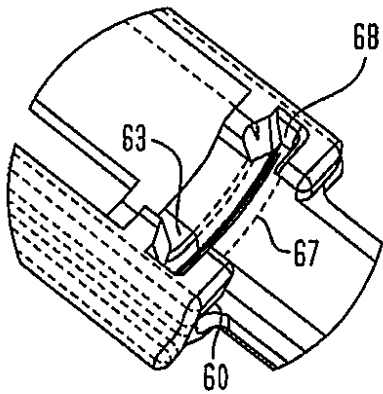
FIG. 75



- 【手続補正 7 5】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 7 6
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】

【図 7 6】

FIG. 76



【手続補正 7 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 7】

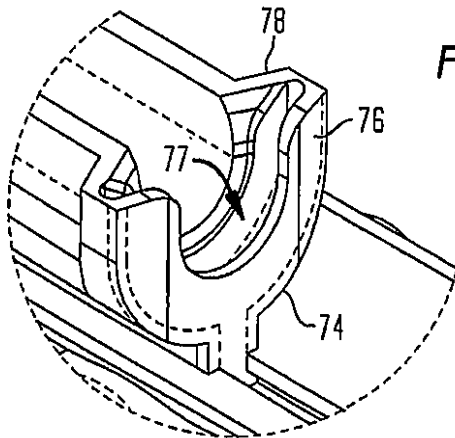


FIG. 77

【手続補正 7 7】

【補正対象書類名】図面

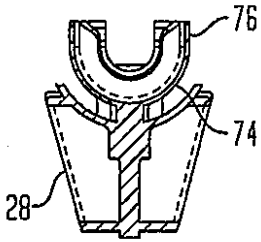
【補正対象項目名】図 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 8】

FIG. 78



【手続補正 7 8】

【補正対象書類名】図面

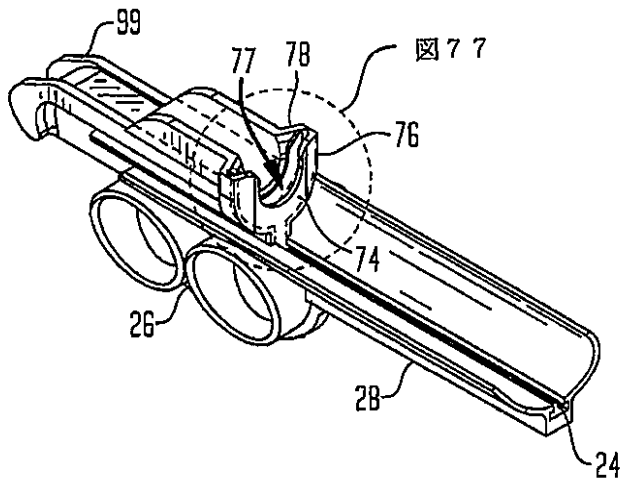
【補正対象項目名】図 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7 9】

FIG. 79



【手続補正 7 9】

【補正対象書類名】図面

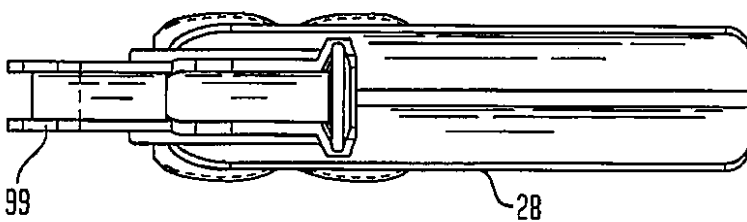
【補正対象項目名】図 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

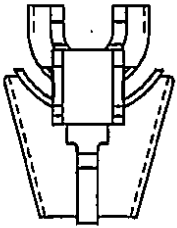
【図 8 0】

FIG. 80



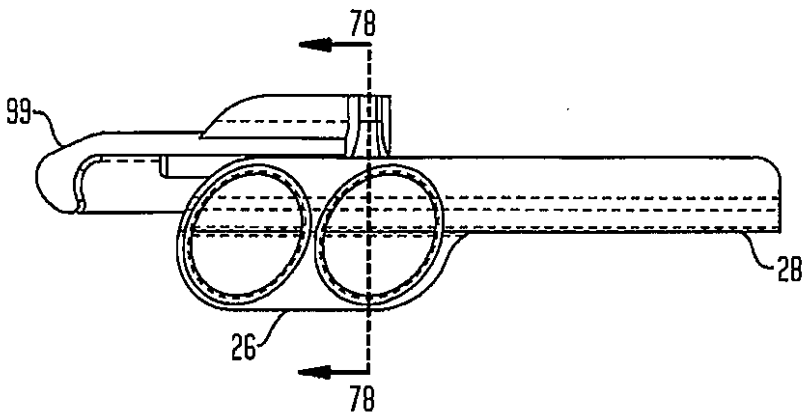
- 【手續補正 8 0】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 8 1
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 8 1】

FIG. 81



- 【手續補正 8 1】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 8 2
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 8 2】

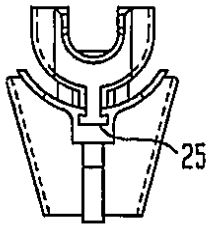
FIG. 82



- 【手續補正 8 2】
- 【補正対象書類名】図面
- 【補正対象項目名】図 8 3
- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】

【図 8 3】

FIG. 83



【手続補正 8 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 8 4】

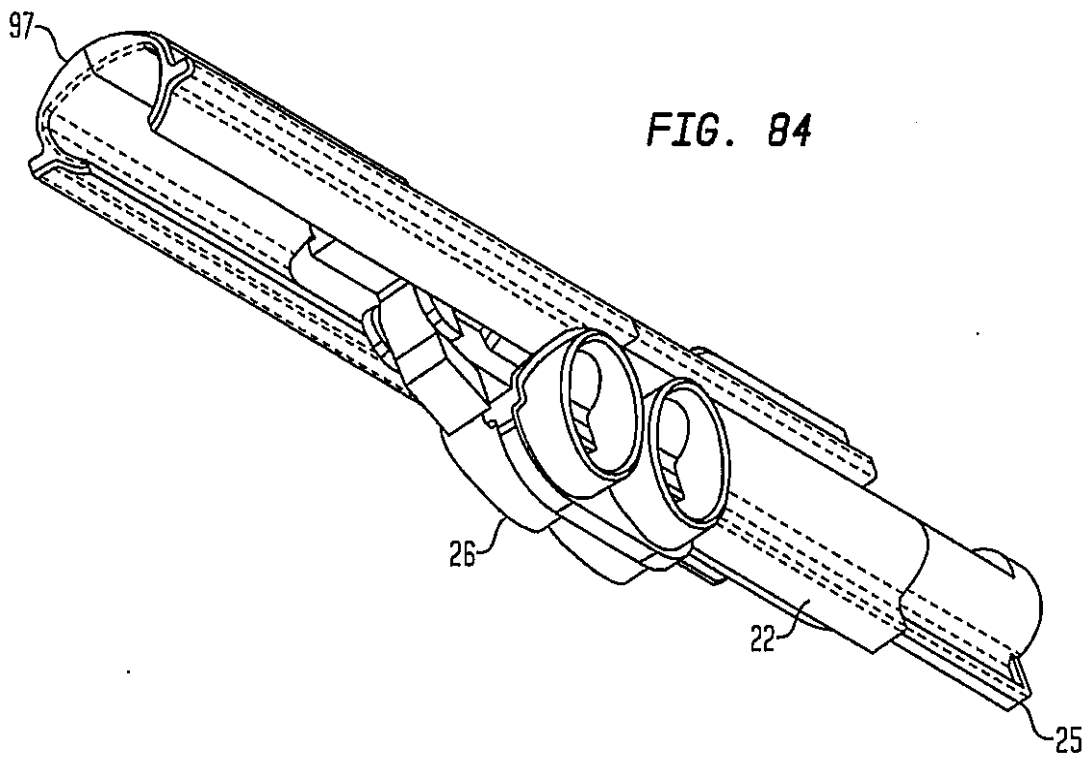


FIG. 84

【手続補正 8 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 8 5 】

